

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G01
授 業 科 目 名			時間数は45分換算 授業形態		学 科 ・ コー ス
フレッシュマンセミナー			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	前期	必修	30	1	栗澤 香織
授業の目的・目標					
沼津情報・ビジネス専門学校の学生として、思いやりのある誠実な心（あいさつ・時間・そうじ）を意識し、基本的な生活態度を身につける。 グループで考え行動することで、クラスメイトや同期生にたいしての仲間意識を持つ。					
授業の概要					
アクティビティやワークを繰り返す中で、楽しみながら沼情コンセプトを理解する。					
成績評価の方法					
出欠席や積極性などで評価する				出欠席	80%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	2	1.		
2.	後藤先生の「心の授業」	2	2.		
3.	保育者とは	6	3.		
4.	学校の説明・学生便覧・教務規定	12	4.		
5.	秋のハイキング	8	5.		
6.			6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G02
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメントⅠ			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	30	1	栗澤 香織		
授業の目的・目標							
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと態度・考え方を学ぶ。コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、3つの基本的な考え方とスキルを身に付ける。また、組織で活動する上での基本となる12の要素を知り、身につける。							
授業の概要							
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。							
成績評価の方法							
出欠席や授業での積極性などで評価する。期末試験等は行わない。						出欠席	70%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
・キャリアデザインワークショップⅡ ・ザ・コミュニケーション							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション		2	1.			
2.	コミュニケーションの基本 心理的環境の管理		2	2.			
3.	表現方法の調整		2	3.			
	質問の活用			4.			
4.	相手からのメッセージへの対応		2	5.			
5.	相手からのメッセージへの対応		2	6.			
6.	物理的環境の整備		2	7.			
	社会人基礎力の理解			8.			
7.	働きかけ力		2	9.			
8.	傾聴力・状況は握力		2	10.			
9.	発信力・主体性		2	11.			
	問題発見力・計画力			12.			
10.	実行力・ストレスコントロール力		2	13.			
11.	柔軟性		2	14.			
12.	コミュニケーションの基本(復習)		8	15.			
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G03
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
キャリアディベロップメントⅡ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	30	1	三田 裕		
授業の目的・目標							
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと対応・考え方を学ぶ							
授業の概要							
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練し、保育現場や実習先で実践することができるようになってほしい。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知る。							
成績評価の方法							
出席状況・授業への積極性により評価						出欠席	80%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
ザ・コミュニケーション キャリアデザイン ワークショップⅡ							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	社会人基礎力の応用		2	1.			
2.	1-1. 実行力・柔軟性		4	2.			
3.	1-2. 発信力・働きかけ力		4	3.			
4.	1-3. 計画力		2	4.			
5.	1-4. 主体性・想像力		4	5.			
6.	1-5. ストレスコントロール力		2	6.			
7.	社会人基礎力診断		2	7.			
8.	イベントの企画運営		2	8.			
9.	イベント		6	9.			
10.	反省・振り返り		2	10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G04
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
キャリアディベロップメントⅢ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	通年	必修	30	1	三枝 昌美
授業の目的・目標					
社会生活を送る上での基本的なコミュニケーションスキルと対応・考え方を学ぶ。					
授業の概要					
コミュニケーションの3つの基本的な考え方とスキルを訓練する。 コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、組織で活動する上での基本となる12の要素を知り、身につける。					
成績評価の方法					
出欠状況・授業への積極性により評価				出欠状況	70%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	社会人基礎力の応用	4	1.		
2.	コミュニケーションスキル	4	2.		
3.	イベント企画	2	3.		
4.	イベント企画運営	8	4.		
5.	交流園システム	8	5.		
6.	社会人基礎力実践	2	6.		
7.	振り返り	2	7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G04
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
就活ゼミ I			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	後期	必修	15	1	栗澤 香織
授業の目的・目標					
就職活動する上で基本となるルールやマナーを身につけ、計画的に活動できるようにする。					
授業の概要					
自己表現をすることと、希望する企業・団体について学ぶ。					
成績評価の方法					
出欠席と授業内での積極性などを総合的に評価する。					出欠席 80%
					授業態度 20%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 働くということ・社会人としての自覚		1	1.		
2. 自己分析・自分の魅力探し		2	2.		
3. 就職活動の流れと本校における提出書類の確認・就職コーナーの活用		2	3.		
4. Webサイトでの情報収集		2	4.		
5. 業界研究・企業研究		2	5.		
6. 求人票の見方、給与・保険制度		2	6.		
7. 職種研究		2	7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G05
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
就活ゼミⅡ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	15	1	三田 裕		
授業の目的・目標							
就職活動をスムーズに行うための基礎知識を身につける。							
授業の概要							
自己表現をすることと、希望の会社・団体ついて学ぶことをバランスよく行う。							
成績評価の方法							
出欠席や積極性などを総合的に評価する。						出欠席	80%
						授業態度	20%
使用テキスト・教材							
就活ガイドブック							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	働くということ・社会人としての自覚		1	1.			
2.	自己分析・自分の魅力探し		1	2.			
3.	就職活動の流れと本校における提出書類の確認・就職コーナーの活用		1	3.			
4.	Webサイトでの情報収集		1	4.			
5.	業界研究・企業研究		1	5.			
6.	求人票の見方、給与・保険制度		1	6.			
7.	筆記試験対策		1	7.			
8.	会社説明会		1	8.			
9.	就活支援セミナー		4	9.			
10.	履歴書の書き方		2	10.			
11.	面接指導		1	11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
				15.			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）			時間数は45分換算		年 度	2020年度
					科目コード	Y-G07
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅰ			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1年	通年	必修	30	1	栗澤 香織	
授業の目的・目標						
園見学や校外活動等に参加する。また、学生相互及び、教員とのコミュニケーションを深めるとともに、集団生活におけるコミュニケーション能力を身に付けることを目的とする。						
授業の概要						
始業式や特別講座など、様々な学校行事に積極的に参加することで、コミュニケーション能力を高めることを意識して参加してほしい。						
成績評価の方法						
出席状況により評価する。					出欠席	100%
使用テキスト・教材						
特になし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	入学式		4	1.		
2.	園見学		4	2.		
3.	前期終業式		2	3.		
4.	後期始業式、防災訓練		2	4.		
5.	秋のハイキング		8	5.		
6.	テーブルマナー		4	6.		
7.	実習説明会		2	7.		
8.	年始式		2	8.		
9.	資格表彰式、終業式、大掃除		2	9.		
10.				10.		
11.				11.		
12.				12.		
13.				13.		
14.				14.		
15.				15.		
その他			関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G08
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動Ⅱ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	通年	必修	60	2	三田 裕		
授業の目的・目標							
学校行事また、学生同士のコミュニケーションを深める行事の運営を経験する							
授業の概要							
クラス内でのコミュニケーションを深め、協調性や企画力を高める。また、本学スクーリングや研修旅行に参加し、学生同士の親睦を図る。							
成績評価の方法							
出欠状況で評価する。						出欠席	100%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	新学期 オリエンテーション		2	1.			
2.	春ハイキング		8	2.			
3.	前期終業式		2	3.			
4.	本学スクーリング		10	4.			
5.	実習報告会		6	5.			
6.	秋ハイキング		8	6.			
7.	就職説明会		4	7.			
8.	模擬面接		10	8.			
9.	卒業研究発表会		8	9.			
10.	後期終業式		2	10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			

シラバス(授業概要)					年 度		2020年度
					科目コード		Y-G09
時間数は45分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
コミュニケーション活動Ⅲ			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	通年	必修	30	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
学校行事また、学生同士のコミュニケーションを深める行事の運営							
授業の概要							
学校行事に参加するだけでなく、学生間で協力して保育関係のイベントや子育てサロンの企画・運営を行うことができるようになってほしい。また、アイディアを出し合い、工夫しながら授業に取り組むことが重要である。							
成績評価の方法							
出欠状況により評価する						出欠席	100%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 新学期オリエンテーション			2	1.			
2. 健康診断			2	2.			
3. 秋ハイキング			8	3.			
4. 就職説明会			8	4.			
5. 卒業研究発表会			4	5.			
6.				6.			
7.				7.			
8.				8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G10
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ビジネスマナー I			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	30	2	込山 まゆみ		
授業の目的・目標							
ビジネス社会で求められる基本的なマナー・エチケットを身につけることを目的とする。							
授業の概要							
ビジネスでは社内外の人とのコミュニケーションや、人間関係を良好に保つことが大切である。社会人としての身だしなみや挨拶、言葉づかいなどの基本的なマナーを学んでいく。							
成績評価の方法							
筆記試験の結果・授業内の小テスト・授業への取り組みを総合評価した上で決定する。						期末試験	50%
						課 題	25%
						授業態度	25%
使用テキスト・教材							
ビジネスマナー 資料プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	マナーとは 自己PR 社会人		2	1.			
2.	コミュニケーション（伝える、話し方）		2	2.			
3.	聴く 指示・命令		2	3.			
4.	報告・連絡・相談		2	4.			
5.	お辞儀 身だしなみ		2	5.			
6.	言葉づかい① 敬語表現		2	6.			
7.	言葉づかい② ビジネス的表現		2	7.			
8.	電話対応① 基本編		2	8.			
9.	電話対応② 応対・取次ぎ		2	9.			
10.	接待の心得① 心構えと手順		2	10.			
11.	接待の心得② 応対の実務		2	11.			
12.	接待の心得③ 訪問の心得		2	12.			
13.	ビジネス文書 基本編		2	13.			
14.	冠婚葬祭① しきたり		2	14.			
15.	冠婚葬祭② 祝儀・不祝儀		2	15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G11
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ビジネスマナーⅡ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	前期	必修	30	2	荻田 友紀子
授業の目的・目標					
1年次に学んだビジネスマナーの基本的な知識や技術をさらに磨き、今後の実習や就職活動に活かせるようにする。					
授業の概要					
マナーやエチケットを学ぶことは、コミュニケーションスキルを高めるためにも有効。ビジネスマナーを学んでより良い人間関係を構築し、保育者としての表現向上を目指す。					
成績評価の方法					
筆記試験の結果・提出物・授業への取り組みの総合評価				期末試験	%
				課 題	%
				授業態度	%
使用テキスト・教材					
社会で生きる実践ビジネスマナー 資料プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	課題設定、職業人としての基本意識	2	1.		
2.	立ち居振る舞い	2	2.		
3.	言葉づかい① 敬語 言葉と表情	2	3.		
4.	言葉づかい② 言葉を選ぶ	2	4.		
5.	言葉づかい③ 表現の仕方	2	5.		
6.	電話応対① 言い回し 事例	2	6.		
7.	電話応対② 受ける かける	2	7.		
8.	訪問のマナー	2	8.		
9.	接遇	2	9.		
10.	冠婚葬祭① 慶事 弔事	2	10.		
11.	冠婚葬祭② 見舞い 贈答	2	11.		
12.	ビジネス文書① 文書表記	2	12.		
13.	ビジネス文書② 通信文作成	2	13.		
14.	対人コミュニケーション① 忠告	2	14.		
15.	対人コミュニケーション② 依頼	2	15.		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G12
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ペン字			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	前期	必修	30	2	宮森 祥世
授業の目的・目標					
楷書体、行書体を美しく書くポイントを学習し、硬筆書写検定3級合格の力をつける。 実際の教育現場で発揮できる書写力を身につける。					
授業の概要					
美しく読みやすい文字を書くことは、仕事や実生活の場面で有用である。					
成績評価の方法					
TP0に合わせて文字を書くポイントを習得したか。幼児教育の場で必要なひらがなを習得したか。 筆順・部首名・草書読みを習得したか。 授業態度、提出物、試験結果を総合的に評価した上で決定する。				期末試験	40%
				課 題	30%
				授業態度	30%
使用テキスト・教材					
・「硬筆書写検定3級合格のポイント」(日本習字普及協会) ・プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ペンの持ち方・姿勢・楷書の基本点画・氏名書き	2	1.		
2.		2	2.		
3.	基本字形(楷書体)・速書き・片仮名の基本、漢字仮名交じり文(楷書横書き)・筆順、草書読み	2	3.		
4.		2	4.		
5.		2	5.		
6.	基本字形(行書体)・熟語を楷書と行書で書く・はがきの表書き・部首・常用漢字の形(問題)	2	6.		
7.		2	7.		
8.		2	8.		
9.	いろはうた・平仮名・片仮名の字源・平仮名の基本	2	9.		
10.	漢字仮名交じり文(行書縦書き)・のし袋の書き方	6	10.		
11.	掲示物の書き方・作品作り	4	11.		
12.	期末試験	2	12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他		関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G13
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
色彩学			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	後期	必修	30	2	久保田 寛
授業の目的・目標					
子供はどんな心理状態の時に、どのような色を選ぶのか?など、心理的な働きを学ぶとともに、保育の現場で実際に使える色彩表現を理論と共に実習で学ぶ。					
授業の概要					
保育士として、子どもたちに子どもたち指導するための色彩の基礎と応用を学んでもらう。					
成績評価の方法					
課題の提出・期末試験により評価。				期末試験	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
・教科書／「カラーコーディネーター入門 色彩」 日本色研事業（税別1,500円） ・教材／配色カード158a 日本色研事業（税別570円）					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1. 色の基本(色の三属性)				1.	
2. 色彩の心理／色の持つ効果				2.	
3. 色彩の基礎／色相環、トーン				3.	
4. 混色の基本／混色で作る色				4.	
5. 課題1. 絵の具実習①（虹の色を作る）				5.	
6. 課題1. 絵の具実習②（虹色による色彩構成）				6.	
7. 課題1. 絵の具実習③（仕上げ、講評）				7.	
8. 色覚について／眼の仕組みと働き				8.	
9. 好悪色について				9.	
10. 課題2. クレヨン実習／スクラッチング				10.	
11. 色彩調和／基本の配色				11.	
12. 色彩調和／配色の応用				12.	
13. 対比と同化／色彩心理の諸現象				13.	
14. 課題3. 色彩構成 季節のイメージ				14.	
15. まとめ				15.	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-G14	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
生活と経済			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	後期	必修	30	2	池野 晴加
授業の目的・目標					
ファイナンシャル・プランニング概論					
授業の概要					
先々に起こるライフイベントのための事前準備として、ライフプランを作成し、分野に分けてお金に関する知識を学ぶ。					
成績評価の方法					
期末試験、授業中の状況				期末試験	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
テキスト・レジュメ					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	ライフイベント・バランスシート作成	2	1.		
2.	教育資金	2	2.		
3.	クレジットカード	2	3.		
4.	住宅ローン	2	4.		
5.	老後の備え	2	5.		
6.	【保険概論】	2	6.		
7.	医療・介護保険	2	7.		
8.	生命保険	2	8.		
9.	損害保険	2	9.		
10.	【金融資産運用概論】	2	10.		
11.	積立でお金を貯める	2	11.		
12.	外貨預金	2	12.		
13.	【相続概論】	2	13.		
14.	まとめ・キャッシュフロー表作成	2	14.		
15.	復習	2	15.		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-G15	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
トータルイメージアップ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	後期	必修	30	2	根上 裕恵
授業の目的・目標					
① 自分の隠れた能力や、魅力、表現力の発掘を目標とする ② 美しい立ち姿、立ち居振る舞いの中からの自己表現を、見出す ③自己目標を設定させて、目標に近づけるようにする					
授業の概要					
① 一人一人が参加出来るように、ロールプレイングを中心に進めていく ② 個人ワークでの自己の振り返り・グループワークでの自己の気づき出来るように指導する					
成績評価の方法					
授業態度、及び試験結果				期末試験	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
印象管理 (Grow)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	第一印象の大切さ	2	1.		
2.	視覚の管理 ①顔の表情	2	2.		
3.	視覚の管理 ②身体の表情・(姿勢・歩き方)	2	3.		
4.	視覚の管理 ③お洒落(小物・アクセサリー・着こなし・ヘアスタイル・メイク)	4	4.		
5.	視覚の管理 ④色を味方にする	2	5.		
6.	聴覚の管理 ①声と話し方(対面・電話応対)	2	6.		
7.	聴覚の管理 ②敬語の大切さ	2	7.		
8.	聴覚の管理 ③メモを取ってみる	4	8.		
9.	聴覚の管理 ④スピーチ	2	9.		
10.	対人スキル(コミュニケーション)	2	10.		
11.	コミュニケーション(話すこと・聴くこと)	2	11.		
12.	マナー/心と向き合う	2	12.		
13.	心と向き合う	2	13.		
14.			14.		
			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G16
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
ビジネスソフト I			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	通年	必修	30	1	三田 裕
授業の目的・目標					
ExcelとWordの操作方法と利用技術を実習中心に学習し、基本的なパソコン操作ができるようになる。					
授業の概要					
Word・Excelの有効な活用方法を学び、保育現場で実践することができるようにしていく。					
成績評価の方法					
日々の授業態度や出欠席と授業内に行う課題の評価、さらに期末試験の結果を合わせ、判定する。				期末試験	50%
				課題	25%
				出欠席	25%
使用テキスト・教材					
・30時間でマスター WORD&EXCEL 2016					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. Wordの基本操作、簡単な文書作成		4	1.		
2. Excelの基本操作、表の作成		2	2.		
3. ワークシートの活用		2	3.		
4. ワープロ検定3級レベルの演習		4	4.		
5. Wordの活用		4	5.		
6. グラフ		2	6.		
7. グラフ（応用）		4	7.		
8. Excel検定3級レベル演習		4	8.		
9. 表の演習		4	9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G17
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
ビジネスソフトⅡ			演 習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	30	1	三田 裕		
授業の目的・目標							
ビジネスソフトの有効な活用について学習する							
授業の概要							
Word・Excel・PowerPointの有効な活用方法を身に付け、保育の現場で活用することができるようになってほしい。							
成績評価の方法							
レポートや授業ごとの課題により評価する						レポート	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	保育計画表の作成(Excel)		10	1.			
2.	おたより例文作成(Word)		10	2.			
3.	PowerPointの基礎		8	3.			
4.	まとめ		2	4.			
5.				5.			
6.				6.			
7.				7.			
8.				8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-G18
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
ビジネスソフトⅢ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	前期	必修	30	1	渡邊 尚明
授業の目的・目標					
ビジネスソフトの有効な活用について学習するだけでなく、保育現場でも活用できるような総合的なパソコンスキルを身に付けることができる。					
授業の概要					
Word・Excelの有効な活用を学習し、パワーポイントの使用したプレゼンテーションの方法を学ぶことができるようになってほしい。					
成績評価の方法					
出欠席及び授業内課題にて評価				出欠席	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	保育年間カレンダー作成	4	1.		
2.	おたより作成	6	2.		
3.	写真・文字の挿入	4	3.		
4.	指導要録の作成	6	4.		
5.	指導案の作成	6	5.		
6.	まとめ	4	6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-G19
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
英会話 I			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	15	1	喜多 絹子		
授業の目的・目標							
日常の会話を英語で楽しむことができるようにするために、簡単な会話に欠くことができない基礎を学ぶ。							
授業の概要							
具体的に場面が設定された会話や、それに伴う発音などを耳から学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度と毎回行う小テストとスクーリング最後の試験結果の総合評価						期末試験	50%
						課 題	25%
						授業態度	25%
使用テキスト・教材							
・Happy English for Childcare							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. Hi, I' m Yuri Tanaka.			2	1.			
2. Where is the Multi-purpose room?			2	2.			
3. Good Morning. How are you today?			2	3.			
4. What color do you like?			2	4.			
5. There' s a ladybug on the leaf.			2	5.			
6. It' s time to play outside.			2	6.			
7. She is allergic to eggs.			2	7.			
8. You should go to the bathroom			1	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR01
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
健康科学			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	15	1	望月 満美		
授業の目的・目標							
健康と体力、およびスポーツについて学び、生活の基盤となる健康を自ら意識し増進していく知識と態度を養う。							
授業の概要							
短大の教科書を参考にしながら、スポーツの歴史と現状、健康の概念の変遷と現代の健康問題、体力の概念とトレーニングについて、考えながら学習する。							
成績評価の方法							
授業態度、出席状況、ノート作成状況、学期末試験、夏休みレポート、授業内の小レポート等を総合して評価する。						期末試験	40%
						課 題	30%
						その他	30%
使用テキスト・教材							
生涯スポーツ・健康科学(近畿大学九州短期大学)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. スポーツの概念			2				
2. 社会生活の変化とスポーツ			2				
3. スポーツ参加の現状と課題			2				
4. 国民スポーツ発展のために			2				
5. 健康の概念			2				
6. 体力の概念			2				
7. 運動不足の実態			1				
8. 生活におけるトレーニング			2				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR02	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
日本国憲法			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	30	2	堀 保彦		
授業の目的・目標							
憲法を体系的に修得するとともに、現代社会における憲法問題について自ら主体的に考察し、自分の考えを具体的に述べるができるようになることを、本授業の目標とします							
授業の概要							
日本国憲法は、国民の自由と権利を守り、自由で公正な社会を築くことを目指す法です。本授業では、日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本原則とそれを実現するための統治機構を概説し、私たちと憲法の関わりについて考えます。最終回の授業で現代社会における憲法の問題点についてプレゼンテーションをしていただきます。							
成績評価の方法							
毎回の授業で提示する課題への取り組み					期末試験	40%	
期末試験					課題	40%	
学習意欲					学習意欲	20%	
3項目を総合した点数で評価する							
使用テキスト・教材							
『日本国憲法』下村孝 近畿大学九州短期大学							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	憲法とは何か		2	1.			
2.	明治憲法から日本国憲法へ		2	2.			
3.	天皇主権から国民主権へ		2	3.			
4.	象徴天皇制・天皇の国事行為		2	4.			
5.	平和主義		2	5.			
6.	基本的人権総論		2	6.			
7.	幸福追求権		2	7.			
8.	法の下での平等		2	8.			
9.	精神的自由権		2	9.			
10.	表現の自由		2	10.			
11.	経済的自由権		2	11.			
12.	社会権		2	12.			
13.	人身の、参自由政権		2	13.			
14.	統治機構の原理、議会制度・権力分立		2	14.			
15.	プレゼンテーション（現代社会における憲法の問題点について）		2	15.			
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR03
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報処理入門Ⅰ			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	15	1	鈴木 孝昌		
授業の目的・目標							
コンピュータの発達過程やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、インターネットを活用し、最新技術や動向について学ぶ。							
授業の概要							
保育などの仕事の現場で情報処理に関する話題・用語が出た場合に、その話の内容を理解し自分なりに判断できるレベルの知識を習得する。さらに、IT化の社会問題、健康問題を取り上げる。							
成績評価の方法							
学期末試験の成績で評価する						期末試験	100%
使用テキスト・教材							
「情報処理入門」近畿大学九州短期大学通信教育部							
授業内容・授業計画							
情報処理の基礎			時間数				時間数
1.	1-1. 情報とは		3	1.			
	1-2. データの表現方法			2.			
4.	コンピュータシステム	2		3.			
5.	2-1. コンピュータの歴史	2		4.			
6.	2-2. コンピュータの5大装置	2		5.			
7.	ソフトウェア	2		6.			
8.	3-1. 基本ソフトウェア	2		7.			
9.	3-2. 応用ソフトウェア	2		8.			
10.				9.			
11.				10.			
12.				11.			
13.				12.			
14.				13.			
15.				14.			
				15.			
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR04	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
子ども家庭福祉			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	30	2	工藤 豪		
授業の目的・目標							
児童家庭福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する。児童虐待などに関する特徴や施策の展開、さらに少子化に対応する形で整備されてきた保育サービスや子育て支援の動向について学びながら、現代社会における児童家庭福祉の動向を把握できるようにする。							
授業の概要							
授業中に集中力を欠くことなく、主体的に取り組む姿勢をもつ。 その日に学んだことをしっかりと復習し、身につけていく。							
成績評価の方法							
試験（50％）、出席状況を含む受講態度および取組姿勢（25％）、プリントなどの提出物（25％）					期末試験	50%	
					課 題	25%	
					授業態度	25%	
使用テキスト・教材							
浦田雅夫編著／流石智子監修 『知識を生かし実力をつける子ども家庭福祉』 2018年 保育出版社							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	児童福祉の定義と理念		2	1.			
2.	児童福祉から子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷		2	2.			
3.	子どもの人権擁護の歴史の変遷		2	3.			
4.	児童の権利に関する条約		2	4.			
5.	子どもの人権擁護と現代社会における課題		2	5.			
6.	子ども家庭福祉の制度と実施体系・法体系		2	6.			
7.	児童福祉施設、子ども家庭福祉の専門職		2	7.			
8.	少子化と地域子育て支援		2	8.			
9.	母子保健と子どもの健全育成		2	9.			
10.	多様な保育ニーズへの対応		2	10.			
11.	子ども虐待・DV（ドメスティックバイオレンス）とその防止		2	11.			
12.	社会的養護		2	12.			
13.	障害のある子どもへの対応、少年非行等への対応		2	13.			
14.	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への推進		2	14.			
15.	子ども家庭福祉の動向と展望		2	15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR05
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
社会福祉				講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授業の目的・目標							
社会福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、わが国の社会保障における仕組みや特質を理解する。社会福祉に関わる法律や制度の展開、また、社会福祉に影響を与える人口高齢化の推移や特徴を踏まえて、わが国の社会保障における仕組みを理解し、社会保険と社会扶助の差異や、各保険・手当における特質や近年の動向について学ぶ。							
授業の概要							
授業中に集中力を欠くことなく、主体的に取り組む姿勢をもつように心掛けるとともに、その日に学んだことをしっかりと復習し、身につけていく。							
成績評価の方法							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。詳細な配分としては、試験50%、出席状況を含む受講態度および取組姿勢25%、考察や記述における内容や成果25%、である。						期末試験	50%
						授業態度	25%
						課 題	25%
使用テキスト・教材							
『よくわかる社会福祉』第10版（ミネルヴァ書房）							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	社会福祉の歴史と展開（1）―イギリス―		2	1.			
2.	社会福祉の歴史と展開（2）―戦前の日本―		2	2.			
3.	社会福祉の歴史と展開（3）―戦後の日本―		2	3.			
4.	人口高齢化の動向（1）―世界と日本の人口動向―		2	4.			
5.	人口高齢化の動向（2）―人口高齢化の国際比較―		2	5.			
6.	人口高齢化の動向（3）―長寿化による社会的影響―		2	6.			
7.	人口高齢化の動向（4）―人口移動と老年人口割合の地域差―		2	7.			
8.	社会福祉の制度に関する近年の展開（1）―福祉レジームからみる提供システム―		2	8.			
9.	社会福祉の制度に関する近年の展開（2）―社会福祉の近年における展開と地域福祉―		2	9.			
10.	社会保障と社会福祉（1）―社会保障制度の体系―		2	10.			
11.	社会保障と社会福祉（2）―医療保険①―		2	11.			
12.	社会保障と社会福祉（3）―医療保険②―		2	12.			
13.	社会保障と社会福祉（4）―介護保険―		2	13.			
14.	社会保障と社会福祉（5）―年金保険―		2	14.			
15.	社会保障と社会福祉（6）―生活保護―		2	15.			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	2020年度
				科目コード	Y-SR06
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
教育原理			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	後期	必修	30	2	鈴木 幸子
授業の目的・目標					
教育の本質と意義について基礎知識を知り、幅広くかつ原理的に学んでいく。教育に関する基本的な概念と知識の習得を図ることを目的とする。					
授業の概要					
意欲的に授業に参加し、現代の幼児教育について、根源的に考える。					
成績評価の方法					
学習状況（出席含む）20%、レポート50%、最終レポート30%				学習状況	20%
				レポート	50%
				最終レポート	30%
使用テキスト・教材					
汐見稔幸他編集『よくわかる教育原理』（ミネルヴァ書房、2011）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーションー授業の概要ー	2	1.		
2.	子どもとは	2	2.		
3.	発達とは1ー発達の適時性	2	3.		
4.	発達とは2ー発達不全	2	4.		
5.	教育とはー人間形成、成長、発達	2	5.		
6.	教育の目的、内容、方法、計画1	2	6.		
7.	教育の目的、内容、方法、計画2	2	7.		
8.	教育を支える仕組みー制度・法律・行政	2	8.		
9.	子どもへの支援と学校	2	9.		
10.	教師とは	2	10.		
11.	保護者への支援と学校	2	11.		
12.	地域における学校	2	12.		
13.	教育の歴史（日本、世界）	2	13.		
14.	改めて教育とは	2	14.		
15.	まとめ	2	15.		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR07	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
保育原理			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
保育の歴史や現状をふまえ、保育の基本について学びます。							
授業の概要							
短大指定のレポートと試験があります。本授業の内容と今まで学んだ内容を思い出しながら臨みましょう。また、本授業内で、合格の為に課題も提示します。 本授業は、講義だけでなく、ビデオやグループでの話し合いも通して学びます。							
成績評価の方法							
出席状況・学習態度・レポート・試験の総合評価とします。 （評価は、授業への取り組みも重視する為、試験だけができてでも不可になる場合もあります。 また、授業への取り組みは非常によくても、レポートや試験が全くできなければ不可になる場合もあります。）						試験・レポート	50%
						授業態度	30%
						出 欠 席	20%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観		2	1.			
2.	保育に関する諸法令		2	2.			
3.	保育指針・教育要領にみる保育原理		2	3.			
4.	養護と教育の一体化について		2	4.			
5.	保育実践の基本構造		2	5.			
6.	多様な保育内容とその方法		2	6.			
7.	子育て支援について		2	7.			
10.	保育の歴史		8	8.			
11.	これからの保育		4	9.			
12.	まとめ		4	10.			
13.				11.			
14.				12.			
15.				13.			
				14.			
				15.			
その他				関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR08
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
幼児の心理学				講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	15	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標							
子どもの学習行動の概念を学び、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度を肯定する価値観を軸にして、幼児の心理学について学ぶ。							
授業の概要							
心理学の具体的な内容を学ぶことで、心理学が保育とどのように関係しているかを学ぶ。							
成績評価の方法							
出席率、授業態度、試験の結果を総合的に判断し評価する。						期末試験	40%
						出席率	30%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 自己紹介 授業の進め方と説明			1	1.			
2. 組全員の質問			2	2.			
3. 第1章 第2章 保育と教育心理学			2	3.			
4. 第3章 第4章 子どもの発達			2	4.			
5. 第5章 第6章 学びの動機づけ			2	5.			
6. 第7章 第8章 保育における評価			2	6.			
7. 第9章 発達障害のある子どもの教育保育			2	7.			
8. 第10章 保育の中で生かす教育心理学			2	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	Y-SR09
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
造形表現(指導法)		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	前期	必修	15	1	佐野 美千代
授業の目的・目標					
保育での表現活動を円滑にするために欠くことのできないものは、適格な掲示物づくりや、児童の表現活動等における指導力である。本講義ではモダンテックを中心とした作品制作をとおして基礎を身に付け、個々の表現力を伸ばしていく。					
授業の概要					
授業は準備から大切になる。忘れ物をせず授業に臨み、指導者の模範制作を見て理解することから授業は始まる。集中力のある制作、個性の発揮等を大切に、最後まであきらめずに仕上げ、確実に提出することが重要である。					
成績評価の方法					
作品の完成度や授業への意欲、持ち物などを中心に広く総合的に評価し決定する。なお作品が1つでも未提出であれば成績の評価は行われない。				授業態度	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
・ 造形表現（指導法） ・ 絵具を中心とした画材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
オリエンテーション ①授業のきまり			1.		
1. ②内容 ③評価について		2	2.		
2. デッサン①画鉛筆で各自持参した野菜など自然物を描く。毎回継続してデッサンを行う(6回)		2	4.		
3. 色の学習を学びながらモダンテクニックの実習、作品作り		1	5.		
4. 2-1. スタンピング		2	6.		
5. 2-2. ドリッピング		2	7.		
6. 2-3. パチック		2	8.		
7. 2-4. スクラッチ		1	9.		
8. 2-5. スパッタリング		1	10.		
9. 2-6. たたきぼかし		1	11.		
10. 2-7. デカルコマニー		1	12.		
11.			13.		
12.			14.		
			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-SR10
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
保育の心理学			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	前期	必修	30	2	鈴木 幸子
授業の目的・目標					
保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。					
授業の概要					
乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。					
成績評価の方法					
筆記試験40%、課題の内容50%、積極的参加態度10%				期末試験	40%
				課 題	50%
				授業態度	10%
使用テキスト・教材					
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	発達を捉える視点	2	1.		
2.	子どもの発達を理解することの意義	2	2.		
3.	子どもの発達と環境	2	3.		
4.	発達理論と子どもの観・保育観	2	4.		
5.	子どもの発達過程	2	5.		
6.	社会情動的発達	2	6.		
7.	身体的機能と運動機能の発達	2	7.		
8.	認知の発達	2	8.		
9.	言語の発達	2	9.		
10.	子どもの学びと保育	2	10.		
11.	乳幼児期の学びに関わる理論	2	11.		
12.	乳幼児期の学びの過程と特性	2	12.		
13.	乳幼児期の学びを支える保育	2	13.		
14.	まとめ	4	14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR12
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
子ども家庭支援の心理学			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授業の目的・目標							
生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。また、家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。							
授業の概要							
子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題、子どもの精神保健と課題について学んでほしい。							
成績評価の方法							
出欠状況及び平常点、筆記試験にて評価する。						期末試験	50%
						出欠席	50%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	生涯発達とは		2	1.			
2.	乳幼児期から学童期前期の発達		2	2.			
3.	学童期後期から青年期の発達		2	3.			
4.	成人期・老年期における発達		2	4.			
5.	家族・家庭の理解について		2	5.			
6.	家族・家庭の意義と技能		2	6.			
7.	親子関係・家族関係の理解		2	7.			
8.	子育て経験と親としての育ち		2	8.			
9.	子育て家庭に関する現状と課題		2	9.			
10.	子育てを取り巻く社会的状況		2	10.			
11.	ライフコースと仕事・子育て		2	11.			
12.	多様な家庭とその理解		2	12.			
13.	特別な配慮を要する家庭		2	13.			
14.	子どもの精神保健とその課題		2	14.			
15.	子どもの生活・生育環境とその影響		2	15.			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR13
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
子ども家庭支援論				講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	30	2	工藤 豪		
授業の目的・目標							
子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本、支援の体制について学びを深める。							
授業の概要							
子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解を深めてほしい。							
成績評価の方法							
試験（50％）、出席状況を含む受講態度および取組姿勢（25％）、 考察や記述における内容や成果（25％）						期末試験	50%
						課 題	25%
						出欠席・授業態度	25%
使用テキスト・教材							
『よくわかる家庭支援論』第2版（ミネルヴァ書房）							
授業内容・授業計画							
1. 子ども家庭支援の意義と必要性 2. 子ども家庭支援の目的と機能 3. 保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義 4. 子どもの育ちの喜びと共有 5. 保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援 6. 保育士に求められる基本的態度 7. 家庭の状況に応じた支援 8. 地域の資源の活用と自治体・関係機関等との連携・協力 9. 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 10. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 11. 子ども家庭支援の内容と対象 12. 保育所等を利用する子どもの家庭への支援 13. 地域の子育て家庭への支援			時間数	14. 要保護児童等及びその家庭に対する支援 15. 子ども家庭支援に関する現状と課題			時間数
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR14
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
幼児への特別な支援			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	15	1	工藤 豪		
授業の目的・目標							
インクルーシブ教育を含む特別支援教育に関する理念や制度の仕組みを理解する。 特別の支援を必要とする幼児の心身の発達と心理的特性及び学習の過程を理解する。							
授業の概要							
各障害のある幼児の発達の特性や、教師の支援の方法について学んでいく。また、教師が他機関や家庭と連携して特別の支援を必要とする幼児を支援する際の留意点について学ぶ。							
成績評価の方法							
レポート（50％）、科目終末試験（50％）						期末試験	50％
						レポート	50％
使用テキスト・教材							
「幼稚園教育要領（最新版）」、「保育所保育指針（最新版）」 「幼保連携型認定こども園教育・要領（最新版）」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 特別支援教育に関する理念や制度			1				
2. 発達障害児、知的障害児の発達と学習過程			2				
3. 視覚障害児、聴覚障害児、肢体不自由児、病弱児等の学習上及び生活上の困難に関する基礎的な知識			2				
5. 特別な支援を必要とする幼児への支援方法			2				
6. 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容理解			2				
7.							
8. 個別の指導計画と教育支援計画を作成するための基礎知識			2				
9. 園内連携と家庭および関係機関との連携の必要性			2				
10. 母国語や貧困等の問題により特別な教育的ニーズのある幼児の生活上の困難			2				
11. や組織連携の必要性							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR15
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
幼児と言葉			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために専門的事項に関する知識を身に付ける。また、言葉遊びなどの言葉の感覚を豊かにする実践や、児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）について、基礎的な知識を身に付ける。							
授業の概要							
人間にとっての話し言葉や書き言葉などの言葉の意義と機能について、説明できるようになってほしい。							
成績評価の方法							
科目終末試験（50％）、レポート（50％）						期末試験	50％
						レポート	50％
使用テキスト・教材							
・「幼稚園教育要領（最新版）」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）」 ・「保育所保育指針（最新版）」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	言葉の意義や機能		2	1.			
2.	言葉の発達と理解		2	2.			
3.	絵本を生かした保育と絵本紹介 お話作り		2	3.			
4.	幼児における児童文化財の意義		2	4.			
5.	子どもの言葉と表現力		2	5.			
6.	読み聞かせの意義と魅力、実践による工夫		2	6.			
7.	言葉を楽しむための言葉遊び、文字遊び		2	7.			
8.	言葉の発達と表現力		1	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR16
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
幼児と環境			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
幼児教育の基本及び領域「環境」のねらいと内容を理解する。「環境とかかわる力」の発達について理解し、子どもの育ちにとって大切にされているものを知る。							
授業の概要							
保育の実践例を通して具体的な生活体験を重視した保育指導力を養い、実践上の留意点を考慮した総合的な指導力を養ってほしい。							
成績評価の方法							
科目終末試験（50％）、授業態度（50％）						科目終末試験	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
柴崎 正行・若月芳浩（編）「最新保育講座9 保育内容「環境」ミネルヴァ書房							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 保育の基本と保育内容			1	1.			
2. 領域「環境」のねらいと内容			2	2.			
3. 「環境とかかわる力」への発達、理解			2	3.			
4. 領域「環境」と保育方法			2	4.			
5. 領域「環境」の変遷			2	5.			
6. 領域「環境」と保育の実践Ⅰ（自然・身近な物			2	6.			
7. 領域「環境」と保育の実践Ⅱ（文字・数量・地域社会）			2	7.			
8. 領域「環境」と実践上の留意点（自然・身近な物・文字・数量）			2	8.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR17	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
幼児と人間関係			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	15	1	後藤 充代		
授業の目的・目標							
幼児を取り巻く人間関係の現状を把握し、支援が必要なポイントを理解する。 子どもライフコースにおける人と関わる力の重要性や、子どもの自立性と集団のなかでの育ちについて理解し、支え合う仲間集団の条件を理解する。							
授業の概要							
領域「人間関係」に関する知識を得、子ども個人の成長と、仲間集団の成長との双方に配慮しながら、具体的な指導を行う実践力の基礎を培う。							
成績評価の方法							
授業態度（50％）、科目終末試験（50％）					科目終末試験	50％	
					授業態度	50％	
使用テキスト・教材							
・文部科学省「幼稚園教育要領（最新版）」 ・内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）」 ・厚生労働省「保育所保育指針」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	仲間集団と道徳性の育ち		1	1.			
2.	子どもが自己表現できる集団づくり		1	2.			
3.	集団のなかでの「特別な支援」		1	3.			
4.	保育者との信頼関係		1	4.			
5.	地域社会と人々との交流		1	5.			
6.	「人と関わる力」と子どもの成長		1	6.			
7.	地域社会の変容～高度成長期～		1	7.			
8.	地域社会の現状～都市化～		1	8.			
9.	家庭環境の変容～核家族化～		1	9.			
10.	家庭環境の現状		1	10.			
11.	家族支援の必要性		2	11.			
12.	発達過程に応じた人とかかわり		1	12.			
13.	まとめ		2	13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-SR14	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
児童文化			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	前期	必修	15	1	三枝 昌美
授業の目的・目標					
児童文化の具体的な内容をおさえ、特に、子どもの遊びとおもちゃの重要性を理解する。 また、児童文化の分野に実際に触れ、試したり、繰り返したりすることにより、実践にいかされた指導ができるようになることを目的とする。					
授業の概要					
教材の準備や工夫した製作も大切であるが、最終的には、それをどう利用し、活用していけるかを考える					
成績評価の方法					
- 課題を出した時の提出物で評価 - 授業内での簡単な発表(手遊び・読み聞かせなど)や製作物での評価				発 表	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
・児童文化教本・参考書「おもちゃの作り方・与え方」・必要な資料をプリント・教材DVD					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	児童文化とは	1	1.		
2.	児童文化財	2	2.		
3.	児童文化の歴史	2	3.		
4.	伝承と昔話	2	4.		
5.	伝承あそびについて学ぶ	2	5.		
6.	シアターの種類・特徴	2	6.		
7.	様々な人形と表現	2	7.		
8.	まとめ	2	8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
子どもの保健			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	30	2	望月 満美		
授業の目的・目標							
子どもの心身の自然で正常な発達の姿を理解し、それに基づいて子どもの心身の健全な育成の仕方を学習する。							
授業の概要							
運動機能や精神機能の発達、精神保健について学習する。これからかかわっていく子どもたちを実際にイメージしながら、グループで話し合ったりP Cを使って調べたりしてより学習を深めていく。							
成績評価の方法							
授業態度、出席状況、ノート作成状況、授業内の小テスト等を総合して評価する。						期末試験	40%
						課 題	40%
						授業態度	20%
使用テキスト・教材							
よくわかる 子どもの保健 第3版 竹内義博・大矢紀昭編 (ミネルヴァ書房)							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 生理機能の発達と保健				育児環境			2
排泄、睡眠、感覚器官、免疫			2	母親のメンタルヘルス			1
2. 運動機能の発達と保健				虐待とトラウマ			2
新生児、乳児、幼児、			4	地域精神保健活動			1
学童期以降			2				
3. 精神機能の発達と保健							
言語、社会性、情緒の発達			6				
発達を評価する			1				
発達に影響する要因			1				
4. 子どもの精神保健							
精神保健とは			1				
子どもの心身の健康と心身症			2				
生活習慣や行動上の問題			2				
発達障害			2				
慢性疾患			1				
その他				関連科目			

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR20
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
子どもの食と栄養 I			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	15	1	吉川 直美		
授業の目的・目標							
子どもの栄養と食生活は、生涯にわたる健康と生活の基礎である。現代の子どもを取り巻く食環境を体系的に把握する。また、食と栄養の基本的知識を持ち、乳汁期から離乳期、幼児期を中心に、ライフステージの栄養生理や食べる行動の発達過程の特殊性、食行動について学び、子どもの栄養・食生活を応援する保育者の役割を理解することを目指す。							
授業の概要							
子どもの食生活は、子どものみならず、家族や地域住民の健康や生活と密接な関係を持つ。理論を基にした食事展開、援助、食育の具体的な実践力を養うことを目指す。							
成績評価の方法							
試験 80% 授業態度 20%						期末試験	80%
						課 題	20%
使用テキスト・教材							
子どもの食と栄養 二見大介・高野 陽 編著 北大路書房 0 - 5歳まで使えるはじめての離乳食+こどもごはん ナツメ社							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. オリエンテーション			1				
2. 子どもの健康と食生活の意義			2				
3. 栄養に関する基本的知識			2				
4. 食事摂取基準・バランスのよい食事			2				
5. 妊婦・授乳婦の栄養ケア・マネジメント			2				
6. 離乳の意義とその実践			2				
7. 幼児期の心身の発達を食生活			2				
8. 食育の基本と内容・方法			2				
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR21
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
社会的養護 I			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	30	2	工藤 豪		
授業の目的・目標							
現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。また、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本や制度、実施体系等について理解を深める。							
授業の概要							
保育者として児童福祉施設に入所する子どもやその養育者を理解しようとする時、その家庭を取り囲む地域、社会、法規・法律を理解する。多面的な視点をとれるよう心がけて学習する。							
成績評価の方法							
筆記試験40%、課題の内容50%、積極的授業態度10%						期末試験	40%
						課 題	50%
						授業態度	10%
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定教科書、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷		2	1.			
2.	社会的養護の理念と概念		2	2.			
3.	社会的養護の歴史の変遷		2	3.			
4.	子どもの人権擁護と社会的養護		2	4.			
5.	社会的養護の基本原則		2	5.			
6.	社会的養護における保育士等の論理と責務		2	6.			
7.	社会的養護の制度と法体系		2	7.			
8.	社会的養護の仕組みと実施体系		2	8.			
9.	社会的養護の対象		2	9.			
10.	家庭養護と施設養護		2	10.			
11.	社会的養護に関わる専門職		2	11.			
12.	社会的養護に関する社会的状況		2	12.			
13.	施設等の運営管理		2	13.			
14.	被措置児童等の虐待防止		2	14.			
15.	社会的養護と地域福祉		2	15.			
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
乳児保育			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	前期	必修	15	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制や、職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学ぶ。							
授業の概要							
乳児保育は、一番かわいい盛りである時期の子どもを保護者とともに保育できる魅力のある仕事である。しかしながら、基本的な生活習慣を身につけるなど、重要な時期でもある。実習を通して、実際に子どもの世話をし、遊び、触れ合う中でさらに学びを深めて欲しい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						授業態度	40%
						課 題	30%
						レポート	30%
使用テキスト・教材							
近畿大学九州短期大学指定教科書							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	乳児保育の意義・目的、役割と機能		1	15. 自治体や地域の関係機関等との連携・協働			1
2.	乳児保育における養護及び教育		1				
3.	子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題		1				
4.	保育所における乳児保育		1				
5.	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育		1				
6.	家庭的保育等における乳児保育		1				
7.	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場		1				
8.	3歳未満児の生活・遊びと環境		1				
9.	3歳以上児の保育に移行する時期の保育		1				
10.	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助やかかわり		1				
11.	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮		1				
12.	乳児保育における計画・記録・評価とその意義		1				
13.	職員間の連携・協働		1				
14.	保護者との連携・協働		1				
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-SR22	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
乳児保育 I			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	前期	必修	30	2	三枝 昌美
授業の目的・目標					
乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割について理解する。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制や、職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学ぶ。					
授業の概要					
乳児保育は、一番かわいい盛りである時期の子どもを保護者とともに保育できる魅力のある仕事である。しかしながら、基本的な生活習慣を身につけるなど、重要な時期でもある。実習を通して、実際に子どもの世話をし、遊び、触れ合う中でさらに学びを深めて欲しい。					
成績評価の方法					
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。				授業態度	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
近畿大学九州短期大学指定教科書					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	乳児保育の意義・目的、役割と機能	2	15.	自治体や地域の関係機関等との連携・協働	2
2.	乳児保育における養護及び教育	2			
3.	子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	2			
4.	保育所における乳児保育	2			
5.	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育	2			
6.	家庭的保育等における乳児保育	2			
7.	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	2			
8.	3歳未満児の生活・遊びと環境	2			
9.	3歳以上児の保育に移行する時期の保育	2			
10.	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育士等による援助やかかわり	2			
11.	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	2			
12.	乳児保育における計画・記録・評価とその意義	2			
13.	職員間の連携・協働	2			
14.	保護者との連携・協働	2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-SR23
授業科目名			授業形態		学科・コース
教育課程総論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	前期	必修	30	2	鈴木 幸子
授業の目的・目標					
将来保育に関する専門職に就こうとする一人ひとりの者が、他からの借り物の計画に頼るのではなく、自分の担当する子ども達の実態に即して、自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基本的な力を養う。					
授業の概要					
保育の計画は、実際の子どもの姿や学生自身の子どもに対する願い等が根底にある。そのため、具体的な子どもや活動、学生自身の子ども期の体験等をイメージしながら学習する。					
成績評価の方法					
筆記試験40%、課題の内容50%、授業への積極的参加態度10%					期末試験 40%
					課 題 50%
					授業態度 10%
使用テキスト・教材					
近畿大学短期大学指定教科書、その他は授業内で紹介する					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	保育の全体計画の概要	2	1.		
2.	保育の全体計画の意義	2	2.		
3.	保育の計画と保育内容の変遷	2	3.		
4.	教育・保育要領1章における保育の計画	2	4.		
5.	教育・保育要領3章における保育の計画	2	5.		
6.	保育の全体計画と指導計画	2	6.		
7.	指導計画の実際	2	7.		
8.	指導計画の作成	2	8.		
9.	幼稚園における教育課程の実際	2	9.		
10.	保育園における保育課程の実際	2	10.		
11.	保育の全体計画の編成の実際	2	11.		
12.	保育の全体計画の作成 保育目標	2	12.		
13.	保育の全体計画の作成 各学年の計画	2	13.		
14.	保育の全体計画の作成 まとめ	2	14.		
15.	保育の計画発表	2	15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR24	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
教育方法論			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
この授業では、幼児教育の方法や技術に関する基礎理論を理解する。そのためには、現在の幼稚園教育に関する基本的な考え方や子ども理解に必要な基礎的事項が必要不可欠となる。その上で、保育者の卵としてどのような願いを持ち、一人一人の乳児・幼児の育ちをどのように指導・援助していくことができるか方法を考え、実践する態度を育成することを目標とする。							
授業の概要							
これからの幼児教育に求められる保育の指導・援助方法を理解し、自分自身どのような保育者になりたいのか考えながら学習してほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題の提出状況、定期試験を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						期末試験	40%
						課 題	30%
						授業態度	30%
使用テキスト・教材							
『幼稚園教育要領 解説』 文部科学省 『保育所保育指針 解説』 厚生労働省 他 授業内で提示する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション / 幼稚園・保育所・こども園の違い		2	1.			
2.	保育という方法		2	2.			
3.	環境を通しての教育		2	3.			
4.	遊びを通しての指導		2	4.			
5.	主体的な生活を基盤とする保育		2	5.			
6.	遊びの中の学びをはぐくむ保育		4	6.			
7.	さまざまな保育形態		4	7.			
8.	保育における評価		4	8.			
9.	小学校との連携		2	9.			
10.	家庭や地域と連携した保育		2	10.			
11.	保育におけるカウンセリングマインド		2	11.			
12.	まとめ		2	12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※单元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-SF25	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
教職概論			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	後期	必修	30	2	望月 満美
授業の目的・目標					
教育とは何か。教師とはどういう仕事か。教師の歴史から指導方法や指導技術、またその考え方などについて理解しながら、どのような教師になりたいのか、理想とする教師像を自分で考えイメージできるようにする。					
授業の概要					
基本的に教科書に沿って教育や教師について学習しながら、自分の教師としてのイメージを育て、そして教師になる自覚を確立していく。また、授業を通して学習した知識や、自分の考えを自分の言葉で表現する小テストを数時間に一度行う。					
成績評価の方法					
授業態度、出席状況、ノート作成状況、授業内の小テスト等を総合して評価する。					期末試験
					%
					課 題
					%
使用テキスト・教材					
新訂 教職入門 未来の教師に向けて 古橋和夫編 (萌文書林)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 教育とは何か			仲間集団の現状		2
「教育」について考える	2		地域社会の教育力		1
「教師」について考える	2		5. 学校を支える人々と仕事		
2. 教職とは何か			チームとしての学校		1
なぜ教師になりたいか	1		カウンセリングマインド		2
教師としての資質能力	2		保育の場での対応の実際		2
教師としての生活	1		6. 教師を巡る新しい動き		1
3. 日本における教師の歴史			7. 教師を巡る法律		1
近代的学校制度の創設	1		8. 教育改革とこれからの教師		1
国家主義的教育体制	2		9. 教育の専門性と研修		1
大正期	1				
戦時下	2				
戦後	2				
4. 現代社会の子ども					
社会的発達環境の変容	2				
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当					

シラバス（授業概要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR26
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
教育相談			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
子どもの世界や保育士の役割に対する理解を深めることを通して、子どもや家族への支援スキルの基本を学ぶことを目標とする。教育に関する保護者の諸相談について、深く理解すると同時に、対応のあり方を実践的に考える。							
授業の概要							
保育者の立場に立ち、保護者の気持ちに寄りそう姿勢をもつ。							
成績評価の方法							
学習状況（出席含む）20%、レポート50%、最終レポート（14回目）30%						学習状況	20%
						レポート	50%
						最終レポート	30%
使用テキスト・教材							
適宜資料配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. 教育相談の意義			2				
3. 教育相談の基本（1）			2				
4. 教育相談の基本（2）			2				
5. 教育相談の実際（1）－いじめ			2				
6. 教育相談の実際（2）－不登校			2				
7. 教育相談の実際（3）－引きこもり			2				
8. 教育相談の実際（4）－自己肯定感			2				
9. 教育相談の実際（5）－幸福度			2				
10. 教育相談の実際（6）－人間関係			2				
11. 教育相談の実際（7）－遊び			2				
12. 教育相談の実際（8）－子どもの絵			2				
13. 教育相談の実際（9）－ネット社会			2				
14. レポート			2				
15. まとめ			2				
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR27	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
実習事前・事後指導Ⅲ			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	通年	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしてほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					授業態度	50%	
					課 題	50%	
使用テキスト・教材							
『幼稚園事前実習指導』近畿大学九州短期大学 『幼稚園・保育園・施設 実習ワーク』小林育子他 (萌文書林、2011) 『実習日誌の書き方』相馬和子、中田カヨ子編 (萌文書林、2004) 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	実習振り返り		2				
2.	課題探求		2				
3.	主活動の研究・指導案		10				
4.	記録の取り方・復習		6				
5.	実習準備		8				
6.	まとめ		2				
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-SR27	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
実習事前・事後指導 I			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	後期	必修	60	2	栗澤 香織
授業の目的・目標 実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。					
授業の概要 日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしっかりと行う。					
成績評価の方法 授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					
				授業態度	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材 ・『幼稚園事前実習指導』近畿大学九州短期大学 ・『新訂 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド』 同文書院					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	2	1.		
2.	実習説明	4	2.		
3.	実習とは、実習内容	2	3.		
4.	園見学準備	8	4.		
5.	教材作成	10	5.		
6.	実習日誌	8	6.		
7.	指導案	8	7.		
8.	園見学	8	8.		
9.	園見学事後指導	2	9.		
10.	プレ実習準備	6	10.		
11.	振り返り、まとめ	2	11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他 ※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR29	
授 業 科 目 名				授業形態		学 科 ・ コー ス	
実習事前・事後指導Ⅱ				講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	通年	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
幼稚園・保育所・こども園の機能や内容、目的を理解する。さらに、専門科目で習得した知識や技能と、各園における教育・保育実践とを具体的に統合することによって、教育・保育実習にたいする意欲や課題意識を高め、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備を行う。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						授業態度	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
『幼稚園事前実習指導』近畿大学九州短期大学 『幼稚園・保育園・施設 実習ワーク』小林育子他 （萌文書林、2011） 『実習日誌の書き方』相馬和子、中田カヨ子編 （萌文書林、2004） 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1.	保育園・幼稚園の機能と役割		4				
2.	実習計画書作成		8				
3.	教材研究		16				
4.	指導案作成		14				
5.	日誌の書き方		14				
6.	報告会		4				
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-SR30	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
音楽Ⅲ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	通年	必修	60	2	小林 教子
授業の目的・目標					
音符に親しみ、歌いながらピアノが弾けるようになる					
授業の概要					
恥ずかしがらず、人前で大きな声で話ができることが大切である。					
成績評価の方法					
授業態度や実技課題の評価点などを総合評価した上で決定				期末試験	%
				課 題	%
使用テキスト・教材					
幼稚園・保育園のうた、ピアノ伴奏曲集					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 自己紹介、朝の歌、おかえりのうた		2	1.		
2. 実習準備、春の歌		10	2.		
3. 夏の歌		8	3.		
4. 実技試験の練習		8	4.		
5. 実技試験		4	5.		
6. 秋の歌		8	6.		
7. 冬の歌		8	7.		
8. 卒園ソング		4	8.		
9. 実技試験		8	9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR31
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽Ⅰ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	通年	必修	120	4	竹中 紀江		
授業の目的・目標							
音楽Ⅰを基本とし、保育現場で応用できる演奏技能、音楽表現に必要な技能を学ぶ。 合唱・合奏を通じて個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る。							
授業の概要							
器楽（ピアノ）→バイエル教則本を基礎としたテキスト、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムを使用し、基礎技能と共に、幼児音楽を楽しく弾き歌いする。 声楽→幼児に素直な声で歌わせるために、発声法の技能を高めよう。 楽典→幼児の音楽に必要な基礎的知識、楽譜が伝えてくれる「音楽」をできるだけ正しく演奏するために、譜面上に記載された約束事を理論によって学ぶ。							
成績評価の方法							
器楽（ピアノ）、声楽の実技試験の結果、平常点を総合評価した上で決定する。						実技試験	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
音楽Ⅰ《ピアノ教本》、《声楽教本》ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム こどものうた大百科～簡易ピアノ伴奏全302曲～、プリント、ジュニアクラスの楽典問題集							
授業内容・授業計画							
前期		時間数	後期			時間数	
1. 幼児音楽「生活の歌」反復、速度記号		8	1. 幼児音楽「秋」			6	
2. 幼児音楽「夏」「行事の歌」、音程		6	2. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）			4	
3. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）		4	3. 実習に向けての課題曲			8	
4. 実習に向けての課題曲、音程		10	4. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）			4	
5. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）		8	5. 幼児音楽「冬」、色々なテーマの曲、移調			10	
6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現		10	6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現			10	
7. 課題テスト（ピアノ演奏）		4	7. ピアノ発表会			4	
8.			8. アンサンブル奏法、移調、コード			4	
9.			9.				
10.			10.				
11.			11.				
12.			12.				
13.			13.				
14.			14.				
15.			15.				
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR32
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
リトミックⅡ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	前期	必修	30	1	岩塚 咲子		
授業の目的・目標							
各年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ							
授業の概要							
幼稚園・保育園・支援学校等でのコミュニケーション能力を高めるのに有効である							
成績評価の方法							
リトミック研究センター（幼稚園・保育園のためのリトミック指導者資格認定試験に基づく）						実技試験	100%
使用テキスト・教材							
保育園・幼稚園のためのリトミック ～年間カリキュラムとその実践～							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	ティーチング(4歳児—1学期)		2	1.			
2.	ティーチング(4歳児—2学期)		2	2.			
3.	リズムフレーズ（2・3拍子）・リズムカノン（3拍子）		2	3.			
4.	リズムの演奏法（4歳児—1～2学期）		2	4.			
5.	ティーチング（4歳児—3学期）		2	5.			
6.	ティーチング（5歳児—1学期）		2	6.			
7.	リズムカノン（3・4拍子）・複リズム①		2	7.			
8.	リズム演奏法（4歳児—3学期・5歳児—1学期）		2	8.			
9.	ティーチング（5歳児—2学期）		2	9.			
10.	ティーチング（5歳児—3学期）試験公示		2	10.			
11.	リズムカノン・複リズム Ostinato③		2	11.			
12.	リズム演奏法（4歳児—3学期・5歳児—1学期）		2	12.			
13.	リズムカノン・複リズム Ostinato③		2	13.			
14.	1級資格認定試験		2	14.			
15.	リトミックの理論・修了証・認定証授与		2	15.			
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験がある教員が担当する。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR32
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽Ⅱ			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	通年	必修	60	2	竹中 紀江		
授業の目的・目標							
音楽Ⅰを基本とし、保育現場で応用できる演奏技能、音楽表現に必要な技能を学ぶ。 合唱・合奏を通じて個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知る。							
授業の概要							
器楽（ピアノ）→バイエル教則本を基礎としたテキスト、ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバムを使用し、基礎技能と共に、幼児音楽を楽しく弾き歌いする。 声楽→幼児に素直な声で歌わせるために、発声法の技能を高めよう。 楽典→幼児の音楽に必要な基礎的知識、楽譜が伝えてくれる「音楽」をできるだけ正しく演奏するために、譜面上に記載された約束事を理論によって学ぶ。							
成績評価の方法							
器楽（ピアノ）、声楽の実技試験の結果、平常点を総合評価した上で決定する。						実技試験	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
音楽Ⅰ《ピアノ教本》、《声楽教本》ブルグミュラー25の練習曲、ソナチネアルバム こどものうた大百科～簡易ピアノ伴奏全302曲～、プリント、ジュニアクラスの楽典問題集							
授業内容・授業計画							
前期		時間数	後期			時間数	
1. 幼児音楽「生活の歌」反復、速度記号		4	1. 幼児音楽「秋」			6	
2. 幼児音楽「夏」「行事の歌」、音程		4	2. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）			2	
3. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）		2	3. 実習に向けての課題曲、音程			4	
4. 実習に向けての課題曲、音程		6	4. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）			2	
5. 課題テスト（ピアノ演奏、弾き歌い）		2	5. 幼児音楽「冬」、色々なテーマの曲、移調			6	
6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現		4	6. 個々の課題曲、記号、標語に即した表現			8	
7. 課題テスト（ピアノ演奏）		2	7. ピアノ発表会			2	
8.			8. アンサンブル奏法、移調、コード			6	
9.			9.				
10.			10.				
11.			11.				
12.			12.				
13.			13.				
14.			14.				
15.			15.				
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SR33	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
手話			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	後期	必修	30	1	上杉 美揮子		
授業の目的・目標							
手話の技術と、障害者問題や聞こえないことを学ぶことにより、卒業後、それぞれの進路（職場や地域）で、自らが障害者に対する理解者になること							
授業の概要							
沼津市聴覚障害者の会の聞こえない当事者から、聞こえないことで不便なこと・困っていること・学生に伝えたいこと、などを話す授業を数回行う							
成績評価の方法							
技術の試験、筆記試験、レポートで総合的に評価する					期末試験	70%	
					レポート	30%	
使用テキスト・教材							
沼津市手話通訳者の会で作成したテキスト							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 手話を学ぶにあたって。手話の基本			2				
2. 手話の基礎知識。指文字の学習			2				
3. 「自己紹介」の学習。聴覚障害者の生活体験から			2				
4. 講義「ろう重複障害について」。聴覚障害者の生活体験から			2				
5. 講義「手話通訳とは」。聴覚障害者の生活体験から			2				
6. 講義「手話サークルについて」。聴覚障害者の生活体験から			2				
7. 講義「障害者観①障害とは・・・」。「福祉」の学習			2				
8. 講義「当事者から学ぶ」。「教育・医療」の学習			2				
9. 講義「障害者観②障害について」「反対語」の学習			2				
10. 聴覚障害者交流しましょう。実技総復習			2				
11. 総復習。授業を振り返って			2				
12. レポート			2				
13. まとめ			4				
14. 試験「講義の中から」「手話実技」			2				
15.							
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度
時間数は45分換算				Y-SR34	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
リトミック I			演 習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	通年	必修	60	2	岩塚 咲子
授業の目的・目標					
音楽を使って、身体的・感覚的・知的に優れた子どもたちの育成を目指し、その指導が出来るような技術を身につける。また、各年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ。					
授業の概要					
幼稚園・保育園・支援学校等でのコミュニケーション能力を高めるための知識を学ぶ。					
成績評価の方法					
リトミック研究センター（幼稚園・保育園のためのリトミック指導者資格認定試験に基づく）					実技試験 100%
使用テキスト・教材					
保育園・幼稚園のためのリトミック ～年間カリキュラムとその実践～					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	リトミックについて、楽しいリトミックの経験①	2		ティーチング（4歳児－1学期）	2
2.	基礎的な動き①、2拍子基礎リズム	2		ティーチング（4歳児－2学期）	2
3.	基礎的な動き②、拍子	2		リズムフレーズ（2・3拍子）・リズムカノン（3拍子）	2
4.	リズムの演奏法（3歳児指導法・1学期）	2		リズムの演奏法（4歳児－1～2学期）	2
5.	ティーチング（3歳児指導法・1学期）	2		ティーチング（4歳児－3学期）	2
6.	リズムの演奏法（3歳児－2学期）	2		ティーチング（5歳児－1学期）	2
7.	ティーチング（3歳児－2学期）	2		リズムカノン（3・4拍子）・複リズム①	2
8.	楽しいリトミックの経験④、基礎リズム③	2		リズム演奏法（4歳児－3学期・5歳児－1学期）	2
9.	ティーチング（3歳児－3学期）	2		ティーチング（5歳児－2学期）	2
10.	リズム演奏法（3歳児－3学期）	2		ティーチング（5歳児－3学期）試験公示	2
11.	基礎リズム（3・4拍子）	2		リズムカノン・複リズム Ostinato③	2
12.	リズムフレーズ（2・3拍子）	2		リズム演奏法（4歳児－3学期・5歳児－1学期）	2
13.	リズム演奏法（3歳児－1～3学期）	2		リズムカノン・複リズム Ostinato③	2
14.	2級資格認定試験	2		1級資格認定試験	2
15.	リトミックの理論① 修了証・認定証授与	2		リトミックの理論・修了証・認定証授与	2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				年 度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	Y-SR35
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
ポップアート			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	通年	必修	60	2	三田 裕
授業の目的・目標					
園内の掲示物など、わかりやすくまた、見栄えのする表現方法を学ぶ。 子どもの発達に合った制作を考えることが出来るようになる。					
授業の概要					
保育で使える壁面制作をはじめ、立体制作物、シアターなどを制作する。					
成績評価の方法					
授業態度や課題提出を総合して評価する。					授業態度 50% 課 題 50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	壁面制作		8	1.	
2.	紙粘土遊び		4	2.	
3.	切り絵		2	3.	
4.	教材づくり		10	4.	
5.	発表		2	5.	
6.	つるし飾り		4	6.	
7.	ポップアップカード		4	7.	
8.	おはりこ		8	8.	
9.	壁面制作		8	9.	
10.	シアター制作		8	10.	
11.	シアター発表		2	11.	
12.				12.	
13.				13.	
14.				14.	
15.				15.	
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR36
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
絵本			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	通年	必修	30	1	佐藤 友美		
授業の目的・目標							
幼児教育の視点から絵本について考察し、知識・技術を習得していく。 絵本の種類や選び方・読み聞かせの方法等、実践を通して学んでいくことを目標とする。							
授業の概要							
絵本は子どもの心を動かし、ダイレクトに言葉を心に届けることができる。また、幼児期に育てていきたい多くの要素をもっている。自身も楽しみながら多くの絵本に触れてほしい。							
成績評価の方法							
期末試験は絵本を実際に全員の前で読む実技試験とする。読み方や声の大きさ、聞きやすさ等、絵本を読む上でのポイントを押さえているかどうかを評価する。また、毎時間作成する絵本リストを課題とし、授業態度と合わせて総合判断する。						期末試験	60%
						授業態度	40%
使用テキスト・教材							
・授業内プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	絵本とは		2	1.			
2.	絵本の種類		6	2.			
3.	子どもの発達に応じた絵本		8	3.			
4.	読み聞かせの方法・実践		6	4.			
5.	絵本リスト作成(各授業)		2	5.			
6.	教材研究		2	6.			
7.	紙芝居		2	7.			
8.	素話まとめ		2	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-SR38	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
総合演習			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	後期	必修	30	2	三枝 昌美
授業の目的・目標					
3年間の集大成として、保育に関する総合的な学習能力を習得する。今まで学んできた保育・教育にかかわる課題の中から、自分たちの関心のあるものを選び、分析、考察、検討を行うとともに、その課題について、児童や保護者を援助するための技術、方法について研究する。					
授業の概要					
今まで学んできた保育にかかわる課題の中から、自分たちの興味のあることや気になることを一つ選び、様々な角度から研究して欲しい。また、物事を追及することの楽しさを知ってほしい。					
成績評価の方法					
授業態度と課題を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。				授業態度	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 各自研究を進める		30	1.		
2.			2.		
3.			3.		
4.			4.		
5.			5.		
6.			6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		

シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-SR38
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
保育プレ実習			実習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	後期	必修	30	1	栗澤 香織
授業の目的・目標					
実際の保育現場で実習を行うことで、保育の業務内容や保育士として必要な経験を積む。					
授業の概要					
積極的に保育現場に入ること、プロの保育者になるための自覚や責任感を養う。					
成績評価の方法					
実習日誌の内容や実習での態度、積極性などで評価する。				課 題	100%
使用テキスト・教材					
特になし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育園自主実習		30	1.		
2.			2.		
3.			3.		
4.			4.		
5.			5.		
6.			6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SR39	
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
総合演習Ⅰ			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	通年	必修	30	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
子育てサロンでの実践やさまざまな園に出向く中で、子どもとかかわる経験、保育者から学ぶ経験を増やし、実践的な経験を積む。							
授業の概要							
子どもとかかわる経験を積み、子どもと積極的にとかかわれるようになってほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。					授業態度	50%	
					課 題	50%	
使用テキスト・教材							
必要に応じてプリントを配布する。							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. 園研究			2				
3. 園見学・子育てサロン			24				
4. 振り返り・まとめ			4				
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-SR39	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
秘書検定			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	通年	必修	30	2	栗澤 香織
授業の目的・目標					
ビジネスマナーや知識を学び、秘書の基礎を学ぶ。 秘書検定3級の資格取得を目指す。					
授業の概要					
秘書検定3級の範囲に触れることで、保育の世界だけでなく、社会人として必要なマナーを身に付けることができるため、過去問を中心に演習し、秘書検定3級取得を目指す。					
成績評価の方法					
各授業の課題、授業態度および検定試験の結果を総合的に評価する。				検定試験結果	50%
				課 題	30%
				授業態度	20%
使用テキスト・教材					
「秘書検定3級 実問題集」プリント					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1.	秘書とは？		2	1.	
2.	秘書の仕事と範囲		2	2.	
3.	過去問		4	3.	
4.	郵便について		2	4.	
5.	パソコン業務について		2	5.	
6.	過去問		4	6.	
7.	秘書の心構え		4	7.	
8.	秘書検定過去問題		8	8.	
9.	まとめ		2	9.	
10.				10.	
11.				11.	
12.				12.	
13.				13.	
14.				14.	
15.				15.	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR40
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
保育者準備講座			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	後期	必修	30	2	栗澤 香織		
授業の目的・目標							
保育・教育分野への就職を強く意識し、4月から担任になることを想定し、現在出来る準備を行う。例えば、保育に使える教材の準備や、園長経験者の講演を聞くなど。							
授業の概要							
実際に自分が保育現場で働くことを想定し、クラス運営に必要な教材作りを行う。 また一つひとつの活動（歌、手遊び、朝の会、帰りの会、主活動）別に指導案を立て、活動のねらいや内容を検討する力を身につける。また担任の立場を味わい、自覚を持てるようにする							
成績評価の方法							
授業態度（積極性）、実習準備の取り組み（自主性） 教材等の課題提出を総合的に判断し、評価する。						授業態度	30%
						課 題	50%
						自己課題	20%
使用テキスト・教材							
なし							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	保育者になる意識、自覚を持つ		2	1.			
2.	担任業務について・連絡帳・お便りの書き方		2	2.			
3.	指導計画案の立て方（年間・月案・週案・日案）		2	3.			
4.	保育現場に必要な教材制作		4	4.			
5.	園長先生 講演		2	5.			
6.	ピアノ・歌指導について		2	6.			
7.	衣装作り・発表会、お遊戯会に向けて		6	7.			
8.	お遊戯・体操指導について考える		4	8.			
9.	部分実習指導案（歌・朝の会・帰りの会・食事）		2	9.			
10.	担任ごっこ（指導案に添って実際に保育を行う）		4	10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SR41
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽(楽典)			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	通年	必修	30	2	小林 教子		
授業の目的・目標							
音楽の基礎理論として、楽譜の読み方や書き方、楽譜からの情報の読み取り方について学ぶ。							
授業の概要							
楽譜の決まりを知ること、音楽のさまざまな仕組みを学ぶことを目標とする。							
成績評価の方法							
出欠席及び平常点、筆記試験の結果で評価する						期末試験	50%
						出欠席	50%
使用テキスト・教材							
ジュニアクラスの楽典問題							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	楽典とは		2	1.			
2.	楽譜の書き方・読み方・意味		4	2.			
3.	音符と休符		4	3.			
4.	拍子とリズム		4	4.			
5.	奏法記号		4	5.			
6.	音程		4	6.			
7.	音階		4	7.			
8.	コード奏法		2	8.			
9.	まとめ		2	9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-SR41	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
話しことば検定			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	前期	必修	30	2	三枝 昌美
授業の目的・目標					
「話す」「聞く」全般の知識と能力を高め、正しく豊かな話し言葉を身に付ける。 話しことばにスポットを当てて、「話す」「聞く」力を養う。 社会生活に必要なコミュニケーション能力を高める。					
授業の概要					
アクティブラーニングを取り入れて、基礎学習と実技指導を組み合わせで学習する。					
成績評価の方法					
授業態度（積極性）、実習準備の取り組み				出欠席	50%
				授業態度	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	話しことばについて	2	1.		
2.	パブリックスピーキング	2	2.		
3.	あいさつ・受け答え	2	3.		
4.	自己紹介	2	4.		
5.	話しことばと音声	2	5.		
6.	音声表現の技術	2	6.		
7.	話す・聞く	2	7.		
8.	言葉の選び方・表現方法	2	8.		
9.	敬語とは	2	9.		
10.	敬語表現	2	10.		
11.	電話	2	11.		
12.	電話(実技)	2	12.		
13.	自己紹介PR	2	13.		
14.	リスニング	2	14.		
15.	まとめ	2	15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)				年 度	
				2020年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				Y-SR42	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
卒業研究			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3年	通年	必修	60	2	三枝 昌美
授業の目的・目標					
3年間の集大成として、保育・教職に関する横断的な学習能力を習得する。今まで学んできた保育・教育にかかわる課題の中から、自分たちの関心のあるものを選び、分析、考察、検討を行うとともに、その課題について、児童や保護者を援助するための技術、方法について研究する。					
授業の概要					
今まで学んできた保育・教職にかかわる課題の中から、自分たちの興味のあることや気になることを一つ選び、様々な角度から研究して欲しい。また、物事を追及することの楽しさを知ってほしい。					
成績評価の方法					
授業態度、論文の状況、発表を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。				授業態度	50%
				論 文	25%
				発 表	25%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	2	1.		
2.	各自研究を進める	50	2.		
3.	卒業研究発表会	8	3.		
4.			4.		
5.			5.		
6.			6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス（授業概要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC01
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
英会話I S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	20	1	喜多 絹子		
授業の目的・目標							
日常の会話を英語で楽しむことができるようにするために、簡単な会話に欠くことができない基礎を学ぶ。							
授業の概要							
具体的に場面が設定された会話や、それに伴う発音などを耳から学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度とスクーリング最後の試験結果の総合評価						期末試験	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
・近畿大学九州短期大学テキスト ・Happy English for Childcare（保育のための基礎英語） 金星堂							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. UNIT、近大のテキスト中の保育部分			4	1.			
2. ジェスチャー、子供が病気になったとき、動物の鳴き声 etc			4	2.			
3. 小テスト			12	3.			
4.				4.			
5.				5.			
6.				6.			
7.				7.			
8.				8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC02
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
生涯スポーツ I S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
前期	1年	必修	30	1	田口 彰一		
授業の目的・目標							
実技を通して、運動の特性や特色を学び、子どもに愛好的興味・関心を持たせる工夫を考えさせ、スポーツが生涯に渡って大切であることを学ぶ。							
授業の概要							
授業や保育の中で、集団遊びが成立する条件を学ぶ							
成績評価の方法							
出席状況、授業態度で評価する。						出欠席	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 授業説明と評価説明、ラジオ体操1			2				
2. 縄跳び（短縄）、バレーボール			6				
3. 縄跳びとバレーボールのテスト			2				
4. ラジオ体操第1のテスト、バレーボール			2				
5. ラジオ体操第2の練習、バスケット			2				
6. 縄跳び（長縄）、バスケット			8				
7. 縄跳び（長縄）、バスケットのテスト			2				
8. マット運動			4				
9. まとめ			2				
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授業概要）				年 度	2020年度
				科目コード	Y-SC03
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
情報処理入門 I S			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1年	前期	必修	20	1	鈴木 孝昌
授業の目的・目標					
コンピュータの発達過程やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、インターネットを活用し、最新技術や動向について学ぶ。					
授業の概要					
保育などの仕事の現場で情報処理に関する話題・用語が出た場合に、その話の内容を理解し自分なりに判断できるレベルの知識を習得する。さらに、I T化の社会問題、健康問題を取り上げる。					
成績評価の方法					
学期末試験の成績で評価する。					期末試験 100%
使用テキスト・教材					
「情報処理入門」近畿大学九州短期大学通信教育部					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	4. ネットワーク		6.	5. 3. 1 情報セキュリティとは	2
	4. 1 ネットワークとは			5. 3. 2 情報セキュリティ対策	
	4. 2 ネットワークの種類	2		5. 3. 3 最近のセキュリティ問題	2
	4. 2. 1 LAN			5. 3. 4 IT社会の問題	2
	4. 2. 2 WAN			(1) ネットワーク依存症	2
	4. 3 インターネット			(2) 健康への影響	2
	4. 3. 1 アプリケーション	2			
	4. 3. 2 仕組み				
	5. ネットワークの脅威				
	5. 1 ネットワーク犯罪	2			
3.	5. 2. 不正プログラム				
	5. 2. 1 コンピュータウイルス				
	5. 2. 2 ワーム	2			
4.	5. 2. 3 トロイの木馬	2			
5.	5. 3 情報セキュリティ	2			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC04
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
幼児と音楽表現S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	20	1	竹中 紀江 小林 教子		
授業の目的・目標							
「声」についてのイメージを深め、発声法、表現法を習得する。また、器楽（ピアノ伴奏、楽器演奏）の基礎的な演奏法を理解し、演奏技術の向上を目指す。							
授業の概要							
子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことで、レパートリーを増やし、音程の感覚を養う。弾き歌いの取組と歌唱に伴うピアノ伴奏も行い、アンサンブル力を養う。							
成績評価の方法							
授業への積極的参加（20％）、単位終了試験（80％）						期末試験	80％
						授業態度	20％
使用テキスト・教材							
「音楽（声楽教本）」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布 「音楽（ピアノ教本）」近畿大学九州短期大学通信教育部 配布							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	発生のメカニズムと発声法・ピアノ伴奏の役割		2				
2.	コンコーネの歌唱・譜表と音名・音符と休符		2				
3.	生活の歌の歌唱と伴奏法・拍子とリズム打楽器奏法		2				
4.	コールユーブンゲン（2度・3度）・季節の歌の歌唱と伴奏法・リズム打楽器奏法		2				
5.							
6.	コールユーブンゲン（4度・5度）・リズム譜の作成・音程		2				
7.	自然の歌の歌唱と伴奏法・長音階・リズム楽器演奏		2				
8.	行事の歌の歌唱と伴奏法・和音とコード奏		2				
9.	わらべうた・弾き歌		2				
10.	輪唱・遊び歌		2				
11.	子どもと音楽活動の現在・全体の振り返り		2				
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC04
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽表現技術S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	20	1	竹中 紀江 小林 教子		
授業の目的・目標							
「幼児と音楽表現」での学修を元に、より実践的な歌唱法、ピアノ演奏法、伴奏法、表現法を習得する。教育現場で必要な声楽曲や弾き歌いのレパートリーを増やす。							
授業の概要							
子どもの歌やコールユーブンゲンを歌うことでレパートリーを増やし音程の感覚を養う。楽典の作品解釈を行い、音楽表現の向上と音楽方法についても検討する。							
成績評価の方法							
実技試験、授業への積極的な参加、質問を総合評価する。						実技試験	80%
						授業態度	20%
使用テキスト・教材							
テキスト「音楽〈声楽教本〉」「音楽〈ピアノ教本〉」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	基礎練習		2	1.			
2.	音程		2	2.			
3.	コールユーブンゲン		4	3.			
4.	ピアノ弾き歌い		6	4.			
5.	子どもの歌		2	5.			
6.	コンコーネ		2	6.			
7.	実技試験		2	7.			
8.				8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験がある教員が担当する。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC06
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
幼児と造形表現S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	20	1	望月 裕史		
授業の目的・目標							
様々な素材や表現方法を通して自己表現する楽しさを知り、表現者として主体的に取り組むことで、幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育み、必要な援助と成長を見守ることができる保育者の育成と、実践的造形教育指導の習得を目指す。							
授業の概要							
幼児画の発達過程と特徴理解を深め、幼児期の発達に適した創作活動の援助について考察する。							
成績評価の方法							
課題・提出物（70％）、単位終了試験（30％）						期末試験	30%
						課題・提出物	70%
使用テキスト・教材							
「図画工作」近畿大学九州短期大学配布 「幼稚園教育要領（最新版）」 「保育所保育指針（最新版）」 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領（最新版）」							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	身近な素材を使つての制作		2	1.			
2.	0歳～3歳の子どもの絵		2	2.			
3.	3歳～6歳の子どもの絵と造形		2	3.			
4.	子どもの作品から見えてくるもの		2	4.			
5.	素材と技法の活用		2	5.			
6.	創作への展開		2	6.			
7.	オリジナル作品制作		2	7.			
8.	作品発表と鑑賞・まとめ		2	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験がある教員が担当する。							

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
				科目コード		Y-SC07	
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
教育心理学S				講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標							
子どもの学習行動の概念を学び、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度を肯定する価値観を軸にして、幼児の心理学について学ぶ。							
授業の概要							
心理学の具体的な内容を学ぶことで、心理学が保育とどのように関係しているかを学ぶ。							
成績評価の方法							
出席率、授業態度、試験の結果を総合的に判断して行う。						期末試験	50%
						授業態度	25%
						出欠席	25%
使用テキスト・教材							
「保育に生かす教育心理学」 伊藤健次 編 (株)みらい							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 就学に向けて、幼、保、小連携			4				
2. 家庭ぐるみの教育的支援			4				
3. 子どもをめぐる教育的問題			4				
4. 選択理論心理学			6				
5. まとめ			2				
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC08
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
健康(指導法)S			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標							
現代の日本における疾病の現状と食生活を概観した上で、子どもの運動能力の現状理解と保育における生活習慣等を具体的に学び、保育者として健康の視点から現代の子どもに必要な保育内容を実践する力を培うことを目標とする。							
授業の概要							
自身の健康と課題、子どもの健康と課題のどちらにも積極的に関心を持ち、課題に対する対策を実践する。							
成績評価の方法							
筆記試験40%、課題の内容50%、積極的参加態度10%						期末試験	40%
						課 題	50%
						授業態度	10%
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他授業内で紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 日本における健康の現状と対策			2				
2. 生活習慣と食生活			2				
3. 子どもの健康の現状			2				
4. 子どもの運動能力			2				
5. 子どもの運動能力と保育内容			2				
6. 教育・保育要領における健康			2				
7. 子どもの生活習慣			2				
8. 子どもの日常生活における安全			2				
9. 子どもと震災			2				
10. まとめ			2				
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC09
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス		
人間関係(指導法)S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	20	1	後藤 充代		
授業の目的・目標							
幼稚園教育要領の中の「人間関係」の分野に焦点を当て、理解を深める。 子どもは生活や遊びの場面で、関わりながら育っている。保育者を志す者として、乳幼児期の発達を見る視点、子どもが人と結び合い豊かに関わること、保育者としての対応を学ぶ。							
授業の概要							
授業は、ビデオやグループでのアクティブラーニングを行う。							
成績評価の方法							
出欠席及び平常点、課題提出、試験により評価						期末試験	50%
						課 題	25%
						出欠席	25%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	オリエンテーション		2				
2.	領域「人間関係」		2				
3.	遊びの中で育つ人との関わり、園生活における人とのかかわり		2				
4.	様々な職業の人と関わる保育者		2				
5.	人間関係にかかわる現代社会の状況		2				
6.	人との関わりを育てる保育とは		2				
7.	乳幼児期における人とのかかわりの発達		2				
8.	人とのかかわりが難しい子どもへの援助		2				
9.	領域「人間関係」をめぐる諸問題		2				
10.	まとめ		2				
11.							
12.							
13.							
14.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC10
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
幼児と健康S				講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標							
「今の時代を生きる子どもたち」に対する運動遊びのもつ教育的意義について理解する。各種の運動遊びを素材とした指導計画の作成や、「ねらい」を実現するために必要な知識や技術を習得する。							
授業の概要							
グループワークを中心とした指導計画の作成を通して、運動遊びに関する実践的指導力の向上を図る。							
成績評価の方法							
授業態度、課題の提出状況、定期試験の結果を総合評価する。						期末試験	50%
						課 題	25%
						授業態度	25%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	乳児と幼児の運動発達と健康		2	1.			
2.	現代社会における運動遊びと健康の意義		2	2.			
3.	運動遊びの指導計画作成		2	3.			
4.	グループワーク		4	4.			
5.	運動遊びの指導計画テーマ検討		2	5.			
6.	指導計画のテーマについて情報収集		4	6.			
7.	発表会		2	7.			
8.	まとめ		2	8.			
9.				9.			
10.				10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験がある教員が担当する。							

シラバス（授 業 概 要）			時間数は45分換算		年 度	2020年度
					科目コード	Y-SC11
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
環境(指導法)S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1年	前期	必修	20	1	三枝 昌美	
授業の目的・目標						
保育内容の5領域の1つである「環境」という側面から子ども理解を深め、具体的な保育内容を学ぶ。 また、子どもの発達過程に即した子ども理解と共に、実施の体験やグループワークを通し、知識・技術・判断力を習得する。						
授業の概要						
子どもは様々な環境の中で学んでいく。子どもが「生きる力」を身につけるには、どのような環境を構成していけばよいのか学びを深める。						
成績評価の方法						
授業態度、課題の提出状況、定期試験の得点を総合評価					期末試験	50%
					課 題	25%
					授業態度	25%
使用テキスト・教材						
『体験する・調べる・考える 領域 環境』田宮縁著」（萌文書林、2018）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 領域「環境」とは			2			
2. 園の環境 子どもの発達と環境			2			
3. 自然とふれあい感動する 自然を取り入れて遊ぶ			2			
4. 季節感を味わう			2			
5. 物事の法則性に気づく			2			
6. 生命の営みにふれる 身のまわりの物に愛着をもつ			2			
7. 数量・図形に親しむ			2			
8. 科学を体感する			2			
9. 標識や文字の必要感を育む 身近な情報や施設を生かし、生活を豊かに する			2			
10. 指導形態とカリキュラム			1			
11. まとめ			1			
12.						
その他			関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC12
授 業 科 目 名			授業形態			学 科 ・ コー ス	
言葉(指導法)S			講義・演習			こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
保育内容の5領域の1つである「言葉」という側面から子ども理解を深め、具体的な保育内容を学ぶ。 また、子どもの発達過程に即した子ども理解と共に、実施の体験やグループワークを通し、知識・技術・判断力を習得する。							
授業の概要							
人とのコミュニケーションに言葉はかかせない。保育者のどのようなかわりが子どもの言葉を促すのか、常に子どもの姿を想像しながら学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度、課題の提出状況、定期試験の得点を総合評価						期末試験	50%
						課 題	25%
						授業態度	25%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	保育内容「言葉」とは言葉をめぐるワークショップ		2				
2.	言葉の育つ道すじ		2				
3.	言葉の前の言葉		2				
4.	1つの言葉で		2				
5.	人とつながる言葉1		2				
6.	人とつながる言葉2		2				
7.	言葉で考える		2				
8.	言葉で表現する		2				
9.	言葉でのかかわりに配慮を必要とする子ども 言葉をめぐる相談の実際と対応		2				
10.	まとめ		2				
11.							
12.							
13.							
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC13
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
造形表現(指導法)S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	20	1	佐野 美千代		
授業の目的・目標							
保育での表現活動を円滑にするために欠くことのできない掲示物づくりや、児童の表現活動等におけるモダンテックを中心とした実習を経験し、基礎を身に付け、個々の表現力を伸ばすことを目的とする。							
授業の概要							
創造力と想像力を豊かにして、保育活動が円滑にできるような表現方法の基礎を身に付けていく。							
成績評価の方法							
評価は広く総合的に決定するために授業への意欲（持ち物、ノート、授業への取り組み方）や作品など毎時の課題への取り組み方などを中心に評価する。						授業態度	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
絵具を中心とした画材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション			2				
2. デッサン・モチーフを描く(毎時)			2				
3. 学んだ表現方法を生かして、個々にテーマを決め「子どもの喜ぶ掲示物」づくりをする。			16				
4.							
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

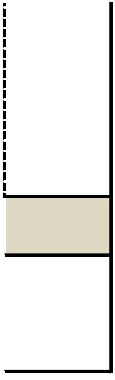
シラバス（授業概要）				年 度	
				科目コード	2020年度 Y-SC14
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
障がい児保育S			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	後期	必修	20	1	工藤 豪
授業の目的・目標					
障がい児保育に関する基本的知識を身につけ、障がい児の特徴を踏まえた保育のポイントや障がい児保育における保育者の意図について考えていく。障害の定義や捉え方、障がい児保育の目的や意義に関する理解を踏まえて、分離保育と統合保育の関係性について考察する。さらに、障害児保育・療育の歴史と展開を把握するとともに、集団援助の場面における保育者の意図についての理解を深める。					
授業の概要					
授業中に集中力を欠くことなく、主体的に取り組む姿勢をもつように心掛けるとともに、その日に学んだことをしっかりと復習し、身につけていく。					
成績評価の方法					
作業と平常点を総合的に勘案して評価する。（確認作業50%、出席状況を踏まえた受講態度および取り組姿勢25%、考察や記述における内容や成果25%）				確認作業	50%
				授業態度	25%
				レポート	25%
使用テキスト・教材					
尾崎康子ほか編 『よくわかる障害児保育』 ミネルヴァ書房					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	障害の定義と捉え方	2	1.		
2.	障害児保育の目的と意義	2	2.		
3.	分離保育と統合保育	2	3.		
4.	知的障害と自閉症における特徴と	2	4.		
5.	保育現場での支援		5.		
6.	注意欠陥多動性障害における特徴	2	6.		
7.	と保育現場での支援		7.		
8.	学習障害における特徴と保育現場での支援	2	8.		
9.	障害児保育・療育の歴史と展開	2	9.		
10.	発達支援の技法―感覚統合訓練―	2	10.		
11.	障害のある子どもに対する集団援助―遊びを通して―	2	11.		
12.			12.		
13.	理解到達度確認作業	2	13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※実務経験がある教員が担当する。					

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度	
						科目コード	Y-SC15	
授 業 科 目 名			授 業 形 態			学 科 ・ コー ス		
児童文化S			演習			こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
3年	前期	必修	20	1	三枝 昌美			
授業の目的・目標								
児童文化の具体的な内容をおさえ、特に、子どもの遊びとおもちゃの重要性を理解する。 また、児童文化の分野に実際に触れ、試したり、繰り返したりすることにより、実践にいかされた指導ができるようになることを目的とする。								
授業の概要								
教材の準備や工夫した製作も大切であるが、最終的には、それをどう利用し、活用していけるか学ぶ。								
成績評価の方法								
・ 課題を出した時の提出物で評価 ・ 授業内での簡単な発表(手遊び・読み聞かせなど)や製作物での評価						発 表	50%	
						課 題	50%	
使用テキスト・教材								
児童文化教本・教材用教本「おもちゃの作り方・与え方」・必要な資料をプリント・教材DVD								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1.	人形劇・紙芝居・ペープサート・シアターなどを学ぶ		2					
2.	ペープサート作りを計画・作成し、使い方・活用法を学ぶ		4					
3.	おもちゃの広場で思い切り遊んでみよう(子どもの立場で考察し、レポート作成)		4					
4.	おもちゃの作り方・与え方の理解、手作りおもちゃの計画を立てる		4					
5.	自分で工夫した手作りおもちゃの製作をする		4					
6.	出来上がったものを見せ合う、学んだことのまとめ、教材DVDでの復習をする		2					
10.								
11.								
12.								
13.								
14.								
15.								
その他			関連科目					
※单元ごと演習課題を実施する。								
※実務経験のある教員が担当する科目である。								

シラバス(授 業 概 要)					年 度		2020年度
					科目コード		Y-SC16
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
子どもの保健ⅡS			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	後期	必修	20	1	望月 満美		
授業の目的・目標							
子どもの事故防止対策と安全教育、災害時の備えと救急処置を学び、保育士として正しい処置や方得する。また、救急時の初期対応を学び、子どもの事故に備える。							
授業の概要							
2年次に学習した続きを、教科書に沿って学習していく。3年次では、特に子どもの疾病や事故、理や救急法について学習する。今後すぐにかかわっていく子どもたちを実際にイメージしながら、プで話し合ったりPCを使って調べたりしてより学習を深めていく。							
成績評価の方法							
授業態度、出席状況、ノート作成状況、授業内の小テスト等を総合して評価する。						期末試験 課 題	
使用テキスト・教材							
よくわかる 子どもの保健 第3版 竹内義博・大矢紀昭編 (ミネルヴァ書房) 子どもの保健 改訂第3版 渡辺博編著 (中山書店)							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 子どもの疾病の特徴			2				
2. いろいろな疾患			5				
3. 乳幼児突然死症候群			1				
4. 感染症と予防接種			1				
5. 身体障害がある子ども			1				
6. 乳幼児健康診査			1				
7. 保育環境整備			1				
8. 子どもの事故の特徴			2				
9. 事故防止対策と安全教育			1				
10. 保健計画			1				
11. 救急処置			4				

その他	関連科目

法を習	
安全管 グルー	
%	
%	
時間数	



シラバス（授業概要）				年 度	2020年度
				科目コード	Y-SC17
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
子どもの食と栄養S			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2年	前期	必修	20	1	吉川 直美
授業の目的・目標					
小児の発育・発達特性、栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食（保育所給食）、食教育の重要性を理解することを目指す。 保育者として小児に適切な食事を提供することができるよう、各時期の栄養法を理解し、調理技能の修得を目指す。					
授業の概要					
授業中に集中力を欠くことなく、主体的に取り組む姿勢をもつように心掛けるとともに、その日に学んだことをしっかりと復習し、身につけていくことが大切である。					
成績評価の方法					
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。詳細な配分としては、試験50%、出席および遅刻の状況10%、受講態度および取組姿勢20%、考察や記述における内容や成果20%、である。				期末試験	50%
				授業態度・出欠席	30%
				課 題	20%
使用テキスト・教材					
『はじめての離乳食+こどもごはん』（ナツメ社）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 調乳実習、人工栄養（粉ミルクから乳汁を作成する）		4	1.		
2.			2.		
3. 離乳食実習（5～6ヶ月、7～8ヶ月、9～11ヶ月、12～18ヶ月）		4	3.		
4.			4.		
5. 幼児食実習（間食、軽食、食材、調理器具の扱い方）		4	5.		
6.			6.		
7. 幼児食（クッキング）、カラフル野菜のキーマカレー作り		4	7.		
8.			8.		
9. 幼児食（食育実習） レストランごっこ		4	9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験がある教員が担当する。					

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC18
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
社会的養護ⅡS			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	20	1	村松 信知		
授業の目的・目標							
子ども理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について、具体的に理解する。施設養護及び家庭養護の実践について理解を深める。							
授業の概要							
社会的養護における計画・記録・自己評価の実際や、相談援助の方法・技術について学びを深める。							
成績評価の方法							
筆記試験40%、課題の内容50%、積極的参加態度10%						期末試験	40%
						課 題	50%
						授業態度	10%
使用テキスト・教材							
近畿大学短期大学部指定、その他その都度紹介する							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1.	社会的養護における子ども理解		2	1.			
2.	日常生活支援、治療的支援、自立支援		2	2.			
3.	施設養護・家庭養護の生活特性及び実際		2	3.			
4.	アセスメントと個別支援計画の作成		2	4.			
5.	記録及び自己評価		2	5.			
6.	保育の専門性に関わる知識・技術とその実践		2	6.			
7.	社会的養護に関わる相談援助の知識・技術とその実践		2	7.			
8.	今後の課題と展望		2	8.			
9.	社会的養護における家庭支援		2	9.			
10.	社会的養護の課題と展望		2	10.			
11.				11.			
12.				12.			
13.				13.			
14.				14.			
15.				15.			
その他				関連科目			
※実務経験がある教員が担当する。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度	
						科目コード	Y-SC19	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
乳児保育S			講義・演習		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2年	前期	必修	20	1	三枝 昌美			
授業の目的・目標								
3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。								
授業の概要								
乳児保育における配慮の実践について、具体的に学ぶ。								
成績評価の方法								
授業態度、課題の提出状況、定期試験の結果を総合評価する。						期末試験	50%	
						課 題	25%	
						授業態度	25%	
使用テキスト・教材								
近畿大学九州短期大学配布テキスト								
授業内容・授業計画								
			時間数					時間数
1. 子どもと保育士等との関係の重要性			2					
2. 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり			2					
3.								
4. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち			2					
5. 子どもの体験と学びの芽生え			2					
6. 子どもの生活や遊びを支える保育環境の構成			2					
7. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活・遊びと援助の実践			2					
8.								
9. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮			2					
10.								
11. 集団での生活における配慮、環境の変化や移行に対する配慮			2					
12.								
13. 長期的な指導計画と短期的な指導計画			2					
14. 個別的な指導計画と集団の指導計画			2					
15.								
その他				関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。								
※実務経験のある教員が担当する科目である。								

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC19
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
乳児保育S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。							
授業の概要							
乳児保育における配慮の実践について、具体的に学ぶ。							
成績評価の方法							
授業態度、課題の提出状況、定期試験の結果を総合評価する。						期末試験	50%
						課 題	25%
						授業態度	25%
使用テキスト・教材							
近畿大学九州短期大学配布テキスト							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. 子どもと保育士等との関係の重要性			2				
2. 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり			2				
3. 子どもの主体性の尊重と自己の育ち			2				
4. 子どもの体験と学びの芽生え			2				
5. 子どもの生活や遊びを支える保育環境の構成			2				
6. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活・遊びと援助の実践			2				
7. 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮			2				
8. 集団での生活における配慮、環境の変化や移行に対する配慮			2				
9. 長期的な指導計画と短期的な指導計画			2				
10. 個別的な指導計画と集団の指導計画			2				
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※单元ごとと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC20
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース	
音楽表現(指導法)S				演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	後期	必修	20	1	竹中 紀江		
授業の目的・目標							
幼児期にとってどのようなことが必要なのか考え、保育者にとって必要な環境設定法や創造・感情豊かにしていくための援助法について、実践的表現活動を通して学ぶ。その手段として、音楽的なあやし言葉かけ遊びや月齢に応じたリズム遊びを創作したり、実践していく。							
授業の概要							
保育者として感性豊かな人間性を育てられるように、積極的に実践活動に取り組んでほしい							
成績評価の方法							
成績は、試験と平常点を総合的に勘案して評価する。						期末試験	50%
						授業態度	50%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 月齢にあわせたリズム遊び			4				
2. グループでの指導案作成			4				
3. 実践事前指導			4				
4. 3・4歳児での実践実習			6				
5. 5歳児での実践実習			2				
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）			時間数は45分換算		年 度	2020年度
					科目コード	Y-SC21
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス	
劇あそび(指導法)S			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1年	後期	必修	20	1	佐藤 友美	
授業の目的・目標						
子どもの発達段階を踏まえた劇遊び・劇つくりのプロセスを理解し、製作や実演の仕方を学ぶ。劇遊びの基礎的な知識を獲得し、それを生かして劇遊び・劇つくりを考え、保育の中で実践できることを目的とする。						
授業の概要						
子どもの立場に立って、どんな内容・使うものが良いか、演じ方が良いかなどを考える						
成績評価の方法						
・ 課題を出した時の提出物で評価 ・ 授業内での発表や製作物での評価					発 表	50%
					課 題	50%
使用テキスト・教材						
必要な資料をプリント						
授業内容・授業計画						
1. 子どもの劇遊び・劇つくりについて学ぶ 身近な音・声・言葉・身振りの表現方法を考える(擬声語・擬態語) 2. 3. 4. 絵本や保育教材を利用した導入方法を学ぶ (大型絵本・エプロンシアター等) 5. 劇遊びに必要なお面（動物）製作をし、簡単にできる劇遊びごっこ方法を学ぶ 6. 7. グループに分かれて、劇遊びの計画を立てる（台本・配役・必要なもの等） 8. 9. グループに分かれて、劇遊びに必要なものを製作する（配役のお面・持ち物等） 10. 子どもの劇遊びの展開を考え、劇の発表までに練習をする。 11. （必要に応じ、背景や音響等、劇に必要なものを用意する） 12. 発表・まとめ・反省レポート 13. 14. 15.			時間数			時間数
			2			
			4			
			2			
			10			
			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC22	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
子育て支援S			講義		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	20	1	工藤 豪		
授業の目的・目標							
保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。							
授業の概要							
子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して意欲的に学んでほしい。							
成績評価の方法							
出欠席状況、平常点、筆記試験により評価する。						期末試験	50%
						出欠席	50%
使用テキスト・教材							
授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 子育て支援の特性			2				
2. 保護者の支援			2				
3. 保護者や家庭の抱える支援のニーズ			2				
4. 保育士の行う子育て支援の展開			2				
5. 支援の計画と環境構成			2				
6. 支援の実践・記録・カンファレンス			2				
7. 保育所等における支援			2				
8. 障害のある子ども及びその家庭への支援			2				
9. 地域の子育て支援			2				
10. 子ども虐待の予防と対応			2				
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC24
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
保育実習事前事後指導 I (保育)S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしてほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						授業態度	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
『保育実習事前指導』近畿大学九州短期大学 『幼稚園・保育所・施設 実習ワーク』小林育子他 （萌文書林、2011） 『実習日誌の書き方』相馬和子、中田カヨ子編 （萌文書林、2004）							
授業内容・授業計画							
			時間数	時間数			
1. 保育園の一日／実習生の心構え			2				
2. 子どもの発達と注意点			2				
3. 乳児保育の実際／乳児の援助方法			2				
4. 実習日誌・部分実習案の書き方			8				
5. 保育実習に向けての準備			6				
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC25	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
保育実習事前事後指導 I (施設)S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	後期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
保育所以外の児童福祉施設の役割や機能・目的について理解する。また、各施設の対象児童・利用者についての特徴や援助法について学び、基礎知識を身につける。保育者、社会人としての自覚を持ち、施設実習を円滑におこなうために、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしてほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価する。					期末試験	50%	
					授業態度	50%	
使用テキスト・教材							
『保育実習事前指導』近畿大学九州短期大学 他、授業内で提示							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 施設実習の意義と目的 / 体験してみよう(視覚障害)			4				
3. 乳児院・児童養護施設の役割と存在意義 利用児の特性			2				
5. 障害児（者）施設の役割と存在意義 利用児（者）の特性			2				
7. 施設職員としての役割と専門性			2				
8. 施設利用児の人権と最善の利益			2				
9. 実習準備			8				
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC26
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
保育実習 I (保育)S			実習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	後期	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
これまで学習してきた理論を基礎として、保育現場において生きた保育技術を学ぶ。実習の目的を認識し、実習園の指示に従いながら、目的を達成するために真剣に実習に取り組む。							
授業の概要							
実習目標を明確にし、真摯な態度で実習に臨んでほしい。また、実習先に合わせた教材研究を事前に準備しておくこと。							
成績評価の方法							
実習における評価、実習日誌、出勤状況などを総合的に評価する。 また、実習事後レポートを1,500字程度でまとめ提出すること。 日誌に無記入や未提出の箇所がある場合は、再提出あるいは減点の対象とする。						実習評価	90%
						事後レポート	10%
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
1. 各園実習			時間数				時間数
2.			60				
3.							
4.							
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC27
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
保育実習 I (施設)S			実習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	後期	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
保育士として必要な資質・能力・技術の向上を課題とし、施設をとりまく家庭と地域の生活実態に触れ、家庭福祉ニーズに対する理解力を深める。また、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。							
授業の概要							
自分なりの課題と目標をもち、積極的に学習する姿勢で実習に臨んでほしい。また、保育技術だけでなく、必要な社会経験を身に付けてほしい。							
成績評価の方法							
実習における評価、実習日誌、出勤状況など総合的に評価する。 また、実習事後レポートを1,500字程度でまとめ提出すること。 日誌に無記入や未提出箇所がある場合は、再提出あるいは減点の対象とする。						実習評価	90%
						事後レポート	10%
使用テキスト・教材							
『保育実習事前指導』田上哲 近畿大学九州短期大学 『保育士をめざす人の福祉施設実習』伊藤貴啓・小川英彦 、みらい 2018年							
授業内容・授業計画							
1. 各施設実習			時間数				時間数
2.			60				
3.							
4.							
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2020年度	
時間数は45分換算				科目コード		Y-SC28	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
保育実習ⅡS			実 習		こども保育科		
履 修 学 年	履 修 学 期	必 修 ・ 選 択	時 間 数	単 位 数	担 当 教 員		
3年	前期	必修	60	2	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
保育士として必要な資質・能力・技術の向上を課題とし、施設をとりまく家庭と地域の生活実態に触れ、家庭福祉ニーズに対する理解力を深める。また、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。							
授業の概要							
自分なりの課題と目標をもち、積極的に学習する姿勢で実習に臨んでほしい。また、保育技術だけでなく、必要な社会経験を身に付けてほしい。							
成績評価の方法							
実習における評価、実習日誌、出勤状況など総合的に評価する。 また、実習事後レポートを1,500字程度でまとめ提出すること。 日誌に無記入や未提出箇所がある場合は、再提出あるいは減点の対象とする。						実習評価	90%
						事後レポート	10%
使用テキスト・教材							
『保育実習事前指導』田上哲 近畿大学九州短期大学 『保育士をめざす人の福祉施設実習』伊藤貴啓・小川英彦 、おらい 2011年							
授業内容・授業計画							
1. 各園実習			時間数	時間数			
2.			60				
3.							
4.							
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC29
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
教育実習事前事後指導S			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2年	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。教育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしてほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						授業態度	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
『幼稚園・保育園・施設 実習ワーク』小林育子他 （萌文書林、2011） 『実習日誌の書き方』相馬和子、中田カヨ子編 （萌文書林、2004） 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 実習の理念(意義・目的・内容)			6				
2. 幼稚園・保育所・こども園の違い							
3. 実習生の心構え／幼稚園の一日			2				
4. 名札作り／実習に向けての諸注意			2				
5. 実習日誌・部分実習案の書き方			6				
6. 子どもの発達と注意点			2				
7. まとめ			2				
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス（授 業 概 要）				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC32
授 業 科 目 名			授業形態			学 科 ・ コー ス	
保育内容総論S			講義・演習			こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1年	前期	必修	20	1	鈴木 幸子		
授業の目的・目標							
幼稚園教育要領及び保育所保育指針を踏まえて、保育園・幼稚園において展開される保育内容について、基本的な考え方を学ぶ。その中で、保育活動は、5領域のねらいが総合されていることを理解し、保育の計画性・教材研究・環境構成について理解を深めていくことを目標とする。							
授業の概要							
幼稚園教育要領・保育所保育指針は必ず目を通しておき、5領域についての予備知識をもつ。							
成績評価の方法							
小テスト・レポート課題、授業態度や発表、教材研究の製作物での評価						小テスト	30%
						課 題	30%
						授業態度	40%
使用テキスト・教材							
・ 幼稚園教育要領及び保育所保育指針 ・ 必要な資料をプリント ・ 幼稚園・保育園 ・ こども園の教育要領							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1.	どんな保育者になりたいか？自分の目標をもつ(レポート作成)		2				
2.	幼稚園・保育園・認定子ども園の比較、それらの1日の保育の流れと保育形態		2				
3.							
4.	子ども・子育て支援新制度について		2				
5.	幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づく保育内容の理解		2				
6.	様々なあそびや活動と5領域の関連について		2				
7.	保育の生活の中での環境構成・援助と指導について学ぶ		2				
8.	保育の中での環境構成の工夫について		2				
9.	保育に役立つ教材(導入に使うなど)作りの計画をし、制作する		4				
10.							
11.	発表・意見交換・まとめ		2				
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授 業 概 要)				時間数は45分換算		年 度	2020年度
						科目コード	Y-SC35
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
保育実習事前事後指導ⅡS			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3年	前期	必修	20	1	三枝 昌美		
授業の目的・目標							
実習の理念を理解し、保育者、社会人としての自覚を持つ。保育実習を円滑におこなうために、目的や課題が明確になるよう事前指導を行う。また、実習の計画、実践、記録、評価の方法や内容についても具体的に理解する。							
授業の概要							
日頃の学習の集大成が実習である。失敗を恐れず、積極的に実習に臨めるよう授業を受け、事前準備をしてほしい。また、施設実習は、保育所・幼稚園実習と異なる点も多い。自分の実習先を理解し、学生最後の実習を楽しんでほしい。							
成績評価の方法							
授業態度、課題、提出物の状況を総合評価し、合計60点以上のものに単位を与える。						授業態度	50%
						課 題	50%
使用テキスト・教材							
『保育実習事前指導』近畿大学九州短期大学 『幼稚園・保育所・施設 実習ワーク』小林育子他 (萌文書林、2011) 『実習日誌の書き方』相馬和子、中田カヨ子編 (萌文書林、2004) 他							
授業内容・授業計画							
			時間数				
1. 観察実習の振り返り 実習課題の確認			4				
2. 責任実習・責任実習指導案について			6				
3. 実習準備			10				
4.							
5.							
6.							
7.							
8.							
9.							
10.							
11.							
12.							
13.							
14.							
15.							
その他			関連科目				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							